

強い  
シリーズ

優秀な人材育成に強い!

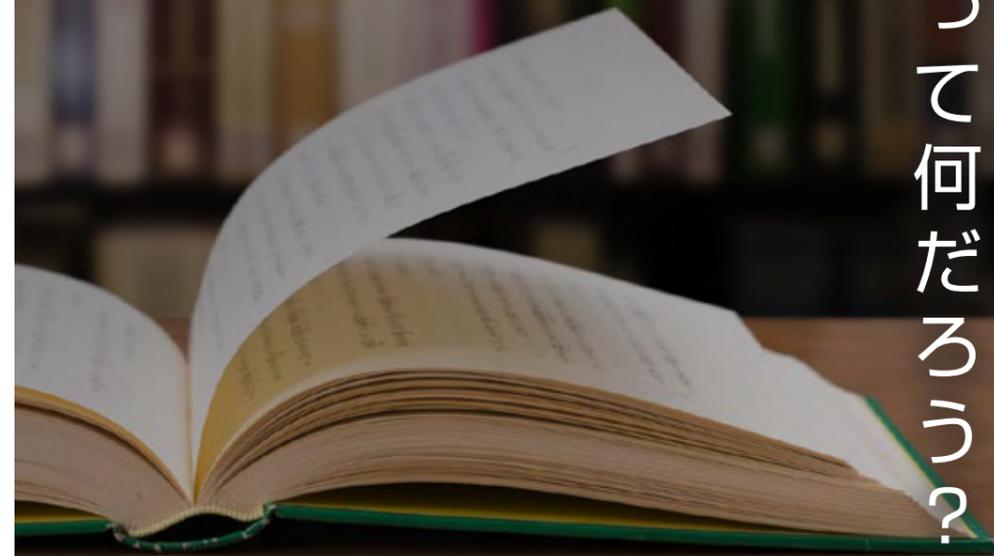
# 特別プログラムのある HONORS PROGRAM 大学

特集

大学で学べる

「特別プログラム」

って何だろう?!



**ANESTA**

株式会社アネスタ

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-6

錦町スクエアビル3階

TEL:03-3259-2801

<http://www.anesta.co.jp>



優秀な人材育成に強い!

# 特別プログラムのある HONORS PROGRAM 大学

# 2020 01

## 特別プログラムのある大学

2019年12月9日発行

発行元 株式会社アネスタ  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-6  
錦町スクウェアビル3階  
TEL.03-3259-2801  
<http://www.anesta.co.jp>

編集・企画 株式会社アネスタ

編集協力  
取材 石田 俊彦  
宇都宮 雅子  
大越 裕  
野口 奈津 (F.editorial)  
原 航平 (ミニマル)  
西村 けい子

撮影 海老澤 芳辰  
木村 雅章  
ハラエリ (PG)  
野田 真  
山口 貴弘 (ROKUNANABASE.INC)

イラスト 白石 トオル

Printed in Japan  
©株式会社アネスタ  
本誌記事・写真の無断転載を禁じます。

●本誌の内容、入手に関するお問い合わせ  
株式会社アネスタ  
TEL.03-3259-2801  
受付時間/月～金曜日(祝日・年末年始を除く)  
10:00～17:00

# CONTENTS

- 02 特集  
**大学で学べる  
「特別プログラム」  
って何だろう?**  
■「特別プログラム」何のためにあるの?  
■「特別プログラム」って何が学べるの?  
■どうすれば「特別プログラム」で学べる?
- 08 「特別プログラムのある大学」  
大学一覧
- 09 「特別プログラム」  
のある大学  
九州産業大学  
学習院大学  
神奈川工科大学  
金沢工業大学  
駒澤大学  
東京経済大学  
南山大学  
武蔵大学  
明星大学
- 36 大学情報

特集

# 大学で学べる 「特別プログラム」 って何だろう？

大学での勉強は高校までとは違い、数多くある学部学科の授業から、全員が必ず受けなくてはならない「必修科目」を除いて興味や関心に合わせて好きな授業を選んで自分だけの時間割をつくれます。

と、ここまでは知っている人も多いかもしれません。ただし最近では他の学生が受けられない授業を“特別に”学ぶことのできる“特別な”学習プログラムを展開する大学が増えてきました。それが大学で学べる「特別プログラム」です。

ここからはその内容について、はじめの一歩から見ていきましょう。

- 「特別プログラム」何のためにあるの？
- 「特別プログラム」って何が学べるの？
- どうすれば「特別プログラム」で学べる？

## ? 「特別プログラム」って何のためにあるの？



およそ2人に1人が大学に進学する現在の大学進学率は、30年前の約2倍。昔は「大学で学んだ」経験が社会や世界で活躍する大きな武器になりましたが多くの人が大学で学べば、もう1段階上の力を手に入れることが社会や世界で活躍する、さらにはリーダー的存在になるために必要になっています。

意欲や能力、大きな夢を持つ学生の力をさらに高めていくために全国の大学でバラエティ豊かに実施されているのが「特別プログラム」です。

### ■ タイプは大きくわけて2つ！



#### ■ 頑張る学生の力をさらに伸ばす

「特別プログラム」のうち、“優秀な成績であること”が参加条件となっているものは少なくありません。これは能力がある学生の力をさらに伸ばそうというプログラムの目的によるものです。たとえばより高度な研究に取り組んだり、海外の大学で学んだりするなど、1段階レベルの高い勉強をすることができます。

#### ■ 学生の広い関心に応える

所属する学部学科に加えて、+αの専門分野を学ぶことで可能性は大きく広がります。たとえば専門分野に加えて、語学力や世界への理解を身につければ世界で活躍できる人材へ、理工系の多分野を学べば高い創造性を持つエンジニアへと成長できるでしょう。

### ■ プログラムの内容は大学によってさまざま！

#### ■ 専門分野+αのスタイル

所属する学部学科の授業に加えて、いろいろな学部学科から学生が集まる少人数の特別クラスに所属。専門分野の知識と技術を社会で大きく役立つための力を身につけます。

#### ■ 海外大学の学位を取得

入学した大学だけでなく、大学が提携を結ぶ海外の大学でも授業を受けて、両方の大学から学位を取得することができる。日本の大学で提携大学の授業を受けられる、といった方式もあります。

#### ■ 通常の授業を英語で受ける

履修する授業は通常の学生と同じ内容ですが、その一部、もしくはすべてが英語で行われる、というもの。世界で活躍するための語学力やコミュニケーション能力が身につきます。

## ? 「特別プログラム」って何が学べるの？

一人ひとりの力や意欲に合わせて4年間をさらに充実した時間にすれば卒業後に社会や世界で活躍できる人材へと成長することができます。

「特別プログラム」の内容は、実施する大学によってさまざま。将来の夢や興味に合わせたプログラムを探して、目標とすることが大切です。ここでは「特別プログラム」の内容を大きく『高度教育系』と『海外語学系』にわけて、その内容を紹介していきます。

### 高度教育系

ワンランク上の学びを通して  
高度な知識とスキルを身につけ  
分野のスペシャリストとなる



所属する学部学科の学びの1段階上の知識や技術を、選抜された少数の授業で身につけ、スペシャリストやリーダーとしてその分野を引っ張っていきける存在へと成長することをめざすのが『高度教育系』の「特別プログラム」の狙いです。たとえば経済を専門とする場合は、政治や商学、国際社会や数学など関連深い分野を横断的に学ぶことで、さらに能力を高めるケースや、理工系であれば、分野の最先端の研究などに取り組むことで卒業後に一流の研究者として活躍することをめざすケースなどもあります。

『高度教育系』の「特別プログラム」は、他の学生以上の能力が求められるため、別枠で入試が設置されていたり、入学後に特別な試験を受けたり、1年次の優秀な成績が必要となる場合などがあります。なお一部の大学では、大学3年次が終わったら大学院に進学する早期進学制度や、高校3年生に進級する時点で大学に入学することができる早期入学制度なども実施しています。これらの制度はもちろん日々の懸命な努力が必要ですが、その道を走り抜いた暁には、社会から多くの期待が寄せられる、将来有望な人材へと成長できるはずですよ。

このほか、自分の専門分野以外に分野を広げて学習することで、多彩な知識を持ち合わせたジェネラリスト(広範な知識を持つ人)をめざすプログラムも存在します。

ひとつの専門分野だけでなく、より広い知識を持つことが社会で活躍する武器になることもあり、スペシャリストとジェネラリストのどちらをめざすかは、将来の夢やイメージに合わせて考えるのがよいでしょう。

#### たとえばこんなプログラム

- 学生自身で考えたテーマで、プロジェクト実現をめざす
- 大学3～4年+修士課程2年間で高度な授業とインターンシップを実施
- 国家試験対策を中心とした国家公務員をめざすプログラム
- 所属の学部・学科を超えて、研究を深めることができるプログラム

### 海外語学系

海外留学や英語での授業を通して  
世界につながる能力を獲得し  
グローバル人材へと成長する



いまやビジネスのジャンルを問わず、多くの企業が海外へと進出、もしくは海外の企業と連携してビジネスを行っています。そんな中、海外でコミュニケーションに困ることのない語学力はもはや当然のスキルになり、世界の文化や社会を知っている「グローバル人材」も貴重な存在ではなくなっています。しかし多くの人はそれを大学卒業後、社会人として身につけている状況であり、学生時代にグローバル社会に適応する力を身につけることは、将来の大きなアドバンテージになるでしょう。そんなグローバル社会に適応する力をいち早く身につけ、早くから世界との交流を積み重ねていけるのが『海外語学系』の「特別プログラム」の魅力です。

このプログラムでは「海外の大学で学ぶ」という内容と、「英語で専門分野を学ぶ」という方法の2つが注目を集めています。「海外の大学で学ぶ」プログラムでは、入学した日本の大学と提携を結ぶ海外の大学で授業を履修することで、日本と海外の2つの大学の学士を取得できるものが多く、これは主に「ダブルディグリー」と呼ばれています。この場合は長期の留学を行うケースが多くなっています。

一方で「英語で専門分野を学ぶ」プログラムでは、日本の大学にしながら海外の大学で学ぶかのように、一部もしくはすべての授業が英語で行われるというもの。日本にしながらして専門分野と語学の両方の力を高めることができる、とても“お得”なプログラムです。このほか、日本で海外の大学の授業を受けて海外の大学の学士が取れるプログラムなど、その内容は大学によってさまざま。将来は海外で働きたいという目標がまだなくても、世界と連携できるスキルの習得は大きな強みとなるはずですよ。

#### たとえばこんなプログラム

- 3年間を日本、2年間を海外の大学で学び2大学の学士を取得
- 普段通っている日本の大学で海外提携大学の授業を履修できる。
- 1年次から4年次まですべての授業を英語で学ぶ。
- 留学生用の学習プログラムに参加し、留学生とともに4年間学ぶ。

「特別プログラム」で学ぶとどんなイイコトありますか？

「特別プログラム」は他の学生よりも勉強や研究に時間を多く使う必要があります。もちろんその分、たくさんのメリットが……。

#### 「特別プログラム」を学ぶメリットたくさん！

##### 他の学生が学べないことが学べる

同じ大学であっても「特別プログラム」でしか学べないことがたくさん。同級生と差をつけて、将来の夢に大きく近づくことができます。

##### 少人数で学びやすい環境

受講条件や試験をクリアした学生のみ、多くの場合が少数精鋭のクラスなので、教員との距離も近い、贅沢な学習環境が手に入ります。

##### 学費の負担が軽減

一部の「特別プログラム」では、対象者に対して学費の免除(一部含む)や給付金などの制度を設けています。

##### 就職活動の武器が増える

「特別プログラム」で学んだ実績は、就職活動時の評価やアピールポイントとなるもの。卒業後の道を大きく切り拓いてくれます。

# ? どうすれば「特別プログラム」で学べる？

大学入試の特別枠に合格するか特別な試験を受ける形が一般的。  
ただし意欲さえあれば参加できるプログラムも用意されています

少数精鋭で行われることが多い「特別プログラム」に参加するためには、テストに合格するか1年次の成績などの履修条件をクリアする必要があります。ただし、意欲さえあれば参加できる「特別プログラム」もあるので、それぞれの参加条件をしっかりと確認しましょう。

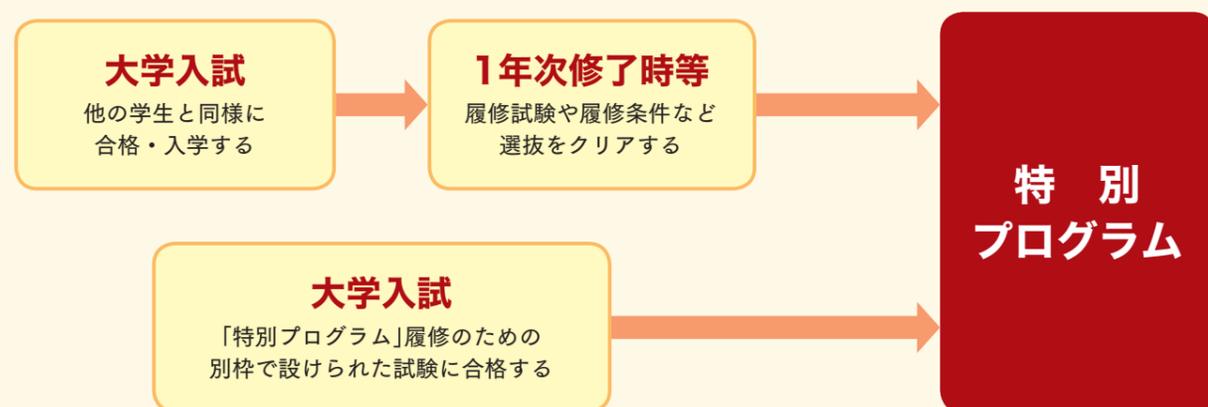
## 1 入試の「特別プログラム」枠に合格する



### 小人数の特別枠に合格し 1年次から学びをスタート

『高度教育系』と『海外語学系』のどちらにも見られますが、特に『高度教育系』において、大学入試の時点で別枠が設けられているケースが多くあります。一般的な学部の入試と比べて人数がとても絞られているのが特徴で、合格のハードルは高く、入学直後の1年次から「特別プログラム」の履修生として、他とは異なるカリキュラムで学ぶケースが多くなっています。また入学以降に「特別プログラム」履修者を選抜する場合でも、入学試験の成績が履修条件に加味されることもあります。一般入試と同様に大学入試センター試験を利用した形式や、AO入試や推薦入試で合格した後で追加試験を受ける形式、面接試験を行う形式などさまざまですので、希望するプログラムを事前にしっかりと調べる必要があります。

### 特別プログラムを履修するまでの主な流れ



## 2 入学後の試験や履修条件をクリアする

### 大学での学びを経験して さらに高みをめざす人へ



通常の大学入試で合格し、入学した後に、「特別プログラム」履修生を選抜する試験に合格する、もしくはこれまでの成績や入学試験の成績など、設定された履修条件をクリアすることによって「特別プログラム」の履修が認められる形式です。2年次や3年次など、入学して数年後からスタートするプログラムで採用されることの多い形式で、大学入学後の頑張りが合格のポイントとなります。実際に大学生活がスタートしてから、履修するかどうかを検討できるスタイルなので、大学の勉強で手応えを得た人や、大学の勉強を通して将来の目標や興味が広がった人に最適なものとなっています。選抜の試験では、学力テストだけでなく面接試験が行われるケースもあり、学生の学びや成長への意欲も大きく問われます。

## 3 意欲さえあれば参加できるプログラム

### 成長意欲を原動力に 確かな成長をめざす



ここまでの選抜方法を見ると、『特別プログラム』はそもそも学力の高い学生しか受けられない」といった印象を受けるかもしれません。しかし中には、学力的に人より秀でたポイントがなくとも、将来の目標や意欲、つまり“本人のやる気”次第で受けることのできる「特別プログラム」も存在します。そういったプログラムは課外活動やプロジェクト学習に近い一面があり、履修単位にならないといったケースもありますが、間違いなく自身の力を伸ばしてくれる貴重な機会になります。いまはまだまだ力不足だけど、将来のためにもっと頑張りたい、大学4年間をしっかりと充実させて、成長して卒業したい。そんな意欲に応える「特別プログラム」も、とても魅力的な学びのひとつです。

「特別プログラム」はどれも、日々の授業よりも少し大変ですが、間違いなく自分を成長させてくれる貴重な機会になるもの。大学ごとに、プログラムごとにその取り組みはさまざまに設定されています。オープンキャンパスやWebサイトで、しっかりと情報をチェックして挑戦しましょう！

# 「特別プログラムのある大学」一覧

弊社のアンケート調査にご協力いただきました全国の大学をご紹介します

<b>共愛学園前橋国際大学</b> 〒379-2192 群馬県前橋市小屋原町1154-4 <a href="https://www.kyoai.ac.jp/">https://www.kyoai.ac.jp/</a> KYOAI GLOBAL HONORS	<b>国際教養大学</b> 〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱 <a href="https://web.aiu.ac.jp/">https://web.aiu.ac.jp/</a> 英語集中プログラム	<b>富山国際大学</b> 〒930-1292 富山県富山市東黒牧65-1 <a href="https://www.tuins.ac.jp/">https://www.tuins.ac.jp/</a> グローバル人材育成プログラム 地域創生人材育成プログラム
<b>京都産業大学</b> 〒603-8555 京都府京都市北区上賀茂本山 <a href="https://www.kyoto-su.ac.jp/">https://www.kyoto-su.ac.jp/</a> 上級英語プログラム グローバル・サイエンス・コース	<b>相模女子大学</b> 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号 <a href="http://www.sagami-wu.ac.jp/">http://www.sagami-wu.ac.jp/</a> 学科横断プログラム	<b>名古屋商科大学</b> 〒470-0193 愛知県日進市米野木町三ヶ峯4-4 <a href="https://www.nucba.ac.jp/">https://www.nucba.ac.jp/</a> ダブル・ディグリープログラム
<b>京都ノートルダム女子大学</b> 〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1 <a href="http://www.notredame.ac.jp/">http://www.notredame.ac.jp/</a> グローバル英語コース	<b>上越教育大学</b> 〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1 <a href="https://www.juen.ac.jp/">https://www.juen.ac.jp/</a> 6年一貫教育プログラム	<b>一橋大学</b> 〒186-8601 東京都国立市中2-1 <a href="http://www.hit-u.ac.jp/">http://www.hit-u.ac.jp/</a> グローバル・リーダーズ・プログラム
<b>群馬大学</b> 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 <a href="http://www.gunma-u.ac.jp/">http://www.gunma-u.ac.jp/</a> グローバルフロンティアリーダー(GFL) 育成プログラム	<b>天理大学</b> 〒632-8510 奈良県天理市柚之内町1050 <a href="https://www.tenri-u.ac.jp/">https://www.tenri-u.ac.jp/</a> 外交官養成セミナー	<b>兵庫県立大学</b> 〒651-2197 兵庫県神戸市西区学園西町8-2-1 <a href="https://www.u-hyogo.ac.jp/">https://www.u-hyogo.ac.jp/</a> グローバルリーダー教育プログラム(GLEP)
<b>神戸女学院大学</b> 〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4の1 <a href="https://www.kobe-c.ac.jp/">https://www.kobe-c.ac.jp/</a> English Honors Program	<b>東京女子大学</b> 〒167-8585 東京都杉並区善福寺2丁目6-1 <a href="http://www.twcu.ac.jp/">http://www.twcu.ac.jp/</a> キャリア・イングリッシュ・アイランドプログラム	<b>広島国際大学</b> 〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36 <a href="https://www.hirokoku-u.ac.jp/">https://www.hirokoku-u.ac.jp/</a> 専門職連携教育(IPE)
<b>公立はこだて未来大学</b> 〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116-2 <a href="https://www.fun.ac.jp/">https://www.fun.ac.jp/</a> 高度ICTコース	<b>獨協大学</b> 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号 <a href="http://www.dokkyo.ac.jp/">http://www.dokkyo.ac.jp/</a> 全学共通カリキュラム(全カリ)	<b>福井県立大学</b> 〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1 <a href="http://www.fpu.ac.jp/">http://www.fpu.ac.jp/</a> JABEE教育プログラム

欧米の大学、中国の大学でも、多く設置されている

## 「特別な教育プログラム」

様々な目的に向けて優秀な人材を育てる教育プログラムが、アメリカ、中国を中心に盛んに行われています。一般的にはオナーズプログラムと呼ばれているもので、それぞれに明確な目的があります。

我が国でも、いろいろなやり方で、主となる教育課程とは別に、特別教育プログラムを行う大学が出てきています。

ここからは、弊社の調査による同様の教育プログラムを実施している大学一覧を掲載するとともに、特に内容等を紹介したい特別教育プログラムを各大学の方針や、実際にプログラムを受けている学生をご紹介します。

今後、我が国も、明確な目的に基づいた特別な教育プログラムが多くで作られていくと考えられます。

大学選びの一つの要素として、受験生の皆さんは、この特別教育プログラムに注目してみてもいいかもしれません。

掲載大学一覧

九州産業大学 KSU基盤教育 KSUプロジェクト型教育	10▶13
学習院大学 FT(Fast Track)コース	14▶15
神奈川工科大学 スーパーサイエンス特別専攻	16▶17
金沢工業大学 KIT オナーズプログラム	18▶21
駒澤大学 ITプロフェッショナルクラス 会計プロフェッショナルクラス	22▶23
東京経済大学 キャリアデザインプログラム(CDP)	24▶25
南山大学 NU-COILプログラム	26▶27
武蔵大学 パラレル・ディグリー・プログラム(PDP)	28▶31
明星大学 小学校教員免許プログラム	32▶35





**榎 泰輔** 学長  
TAISUKE SAKAKI

「もっと意外に。もっと自由に。」  
創立60周年のその先、  
100周年を見据え、  
改革の歩みを止めない。

「新たな知と地をデザインする大学へ—もっと意外に。もっと自由に—」。2020年に迎える創立60周年。さらにその先の100周年を見据えたビジョンを発表しました。これは、60周年、そして100周年と、長きにわたって地域の方々に愛され、信頼される存在であり続けたいという意志のもと策定したものです。「もっと意外に、もっと自由に挑戦し続け、新たな叡知を産み出し、活力ある地域、世界をデザインする大学」へと歩みを進める意思を、このキャッチフレーズに託しました。決して固定観念にはとらわれない本学の特徴を、この言葉が見事に表現してくれていると思います。

本学の学びにおける強みの一つが、文・理・芸の3領域が有機的につながった、多様性あふれる環境です。造形短期大学部を加えた10学部22学科の新体制のもと、

学生の感性や発想力、コミュニケーション力を引き出すこの多様性こそが、豊かな学びの土壌となっています。今後は、この3領域の垣根を取り払った横断的な教育プログラムを強力に推進していきます。

また、企業経営者や学術有識者などを加えて構成する「教育成果評価委員会」を設置し、各学部の教育改革の進捗状況や社会が要請する人材を輩出できる教育や研究が行われているかなどを毎年検証。学生と教職員が共に改善に尽力することで、「教育の質」を高めています。

「産学一如」の建学の理想のもと、今後も、これからの時代に生きる学びを提供する「実学」を実践していきます。さらに、地域に根ざした研究・社会貢献活動に取り組みながら、存在感のある「地域密着型大学」としての姿を追求していきます。

## KSUの特色ある教育プログラム



### 1. 教養教育

教育目標「心身共に健全な国際的教養人」の育成を目指し、国語、数学、歴史、政治、スポーツなどの幅広い分野を学び、生きていくうえで必要な教養を修得するプログラム。

### 2. 英語教育

全学生が、4年間にわたって英会話中心の講義を受講。自分のレベルに合った授業で英語力を伸ばせるよう、少人数能力別クラスに編成している。外国人講師による会話中心の教育で、「使える英語力」を鍛えていく。

### 3. キャリア教育

就職決定率98.7%（対就職希望者）と、7年連続で過去最高を更新し続ける根幹となっているのが、充実したキャリア教育。1年次前期と3年次後期にキャリア教育科目を開講するとともに、学部別の専門スタッフを配置したキャリア支援センターと連携することで、キャリア形成のための基礎づくりから実践的な進路・就職サポートまでを行っている。



学部・学科の枠を越え、地域や企業、行政と連携してプロジェクトを立ち上げ、実社会の課題に対応する力を養うプログラム。他学部の仲間や社会で活躍するプロフェッショナルと協力し、地域の活性化や製品開発といった課題に取り組んでいる。

芸術学部では、2018年度から福岡の地元企業や国内外の航空会社とコラボレーションを実施し、各社のロゴなどがデザインされたオリジナルの博多人形「お福さん」を制作。今年6月の「G20財務大臣・中央銀行総裁会議」のレセプションでは、学生デザインの参加国をモチーフにした博多人形「G20オリジナルハカタオフク」が各国の財務大臣を出迎えた。

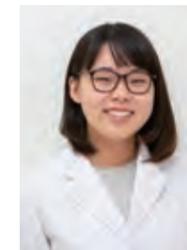
また、経済学部では、地域の方々とサンタの衣装を身にまとい、地元を練り歩きながら交流を深め、病気と闘う子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るチャリティイベント「福岡サンタウォーク」を実施。「東区いきいきまちづくり提案事業」に採択されている。

昨年度は113のプロジェクトを実施しており、今後も連携先を拡大し、地域の課題解決に向けて歩みを進めていく。



## STUDENT's VOICE

### 進化を続ける「食品開発研究会」 新たに“ご飯に合うネギ油”を開発！



**古澤 法子さん**  
生命科学部  
生命科学科 3年  
佐賀県立佐賀北高校出身

「食品開発研究会」の活動の一環で、福岡県糸島市にある「白糸農園」のネギを使った商品開発に携わりました。

きっかけは、障がい者の自立支援を目的に、規格外のネギを活用できないかと相談を受けたこと。障がいを持った人が継続して生産できるシンプルな工程を念頭に、今年の5月から開発を開始しました。コンセプトは“ご飯に合うネギ油”。米油をベースに、素揚げした青ネギとにんにく、白ゴマなどを用い、試作を繰り返して11月によりやく完成し、博多阪急で販売会を実施しました。

今回、食品開発に関する基礎知識のほか、微生物検査や栄養成分の表示方法など、多くのことを学びました。また、プロジェクトリーダーになったことで、人前に立つ積極性や人をまとめる力もついたと実感。企画から製造までを経験できたおかげで、商品づくりの喜びを感じることができました。



### 芸術学部×大刀洗町×西日本鉄道(株)



芸術学部の学生が、大刀洗町と西日本鉄道(株)との連携プロジェクトに取り組んでいる。

「鉄道魅力化プロジェクト」では、“寂しい無人駅の雰囲気を変えたい”という町の実現するため、学生たちは大堰駅のリペイントを決定。今年4月から現地調査や町民とのワークショップを実施し、「みんなが親しみを持てる駅」をテーマにデザインを考案した。9月には、地元の中学校美術部員の応援を得て、川や田んぼ、町のシンボルである今村天主堂のステンドグラスなどを波打つ幾何学模様で表現した、カラフルな新しい壁を作り上げた。

また、15年ぶりに復活する大刀洗町と西鉄久留米駅とを結ぶ路線バスのラッピングデザインも担当。“住民から愛されるバスに”とデザインを依頼されたプロジェクトメンバーは、現地視察や町民との意見交換を実施。今村天主堂の外観の赤レンガやステンドグラスをイメージした車体が完成し、10月1日の出発式では、町民や保育園児など約100人に旗を振って見送られた。



### 生命科学部×芸術学部×八代市×(株)食品計画



生命科学部の学生を中心とするサークル「食品開発研究会」は、八代市と(株)食品計画との産学官連携により、八代市産のユズを使ったアイスクリーム「柚子の泉」を開発した。

八代市産ユズの商品展開を目指す同社から、“ユズの良さが分かるような販売促進につながる商品を”との相談を受けたことがきっかけ。無添加にこだわり、「高級・天然・癒し」をキーワードに開発に着手。学内にある食品加工プラントの設備を活用し、果汁配合、香り、味に気を配りつつ、コストも考慮してレシピを完成。味の調整を繰り返しながら、後味まで柚子の香りが残る、清涼感いっぱいのアイスクリームの商品化に至った。高級感あふれるパッケージデザインは、芸術学部の学生が担当した。

この商品は、現在、アイス専門のインターネットサイト「アイス天国」のほか、キャンパス内の売店でも販売している。

「食品開発研究会」では、これまでも「トマトドレッシング」や「いちごジャム」など多彩な商品開発を行っており、今後の活動に期待が高まっている。



## Pick Up

### 創立60周年記念事業「大楠アリーナ2020」&屋内プール建設



2020年に迎える創立60周年の節目に向け、記念事業の一環として「大楠アリーナ2020」と屋内プールが2020年春に完成予定。

「大楠アリーナ2020」は、5,000人が一堂に会するメインフロアを備えた地上3階建てのビッグアリーナとなり、入学式や学位授与式などの際、参加者全員を収容できる規模が特徴だ。1階にスポーツ用多目的室と実験・実習室、2階にメインアリーナとコミュニケーション・ラウンジ、3階にトレーニングルームなどを備え、将来のトップアスリート育成を目指した、最新機器を完備する。

また、同じく建設中の屋内プールは、競技や授業、研究用の大学プールのほか、誰でも利用できるスイミングプールも併設。創立60周年に向けての新たな改革が推進中だ。



学習院大学法学部政治学科に設けられたFT (Fast Track) コースは、意欲ある学生に英語力や分析力など特徴ある能力開発の場を提供し、将来のキャリア選択の幅を広げるとともに、大学院進学を希望する学生を後押しする特別選抜プログラムです。

2005年度に創設されて以来、10年以上にわたり多くの優秀な人材を輩出してきたこのコースを、より一層充実したものとし、さらに多くの学生に門戸を開くために、2018年度からカリキュラムを刷新しました。

FTコースには、「英語能力強化クラス」と「分析能力強化クラス」との2つのクラスがあります。学生はどちらか一方だけを選択することも、両方に同時に挑戦することもできます。

コースへの参加機会は、2年次からと3年次からの2回用意されています。希望者はそれぞれ1年次末または2年次末に選抜を受け、成績、志願書類、面接によって総合的に合否が判断されます。定員は両クラス合計で30人程度です。

カリキュラムは、全員が必ず履修する「コア科目」と各クラスの指定科目群から構成されます。「コア科目」では、アクティブラーニングを基本として、各参加者の

問題意識を出発点に、企画・調査・報告発表・討論というインプットからアウトプットに至る一連の活動を行います。また、様々な分野の第一線で活躍する方々を講師として招聘し、臨場感あふれる話を聞くことができます。

「英語能力強化クラス」の指定科目群では、少人数選抜コースならではのきめ細かい指導を通じ、高度な英語読解力と、実践的な英語運用能力を鍛えることができます。とりわけ後者については、ネイティブスピーカーによる授業が用意されており、ライティング・プレゼンテーション・スピーキングの技能を伸ばす格好の訓練の場となっています。

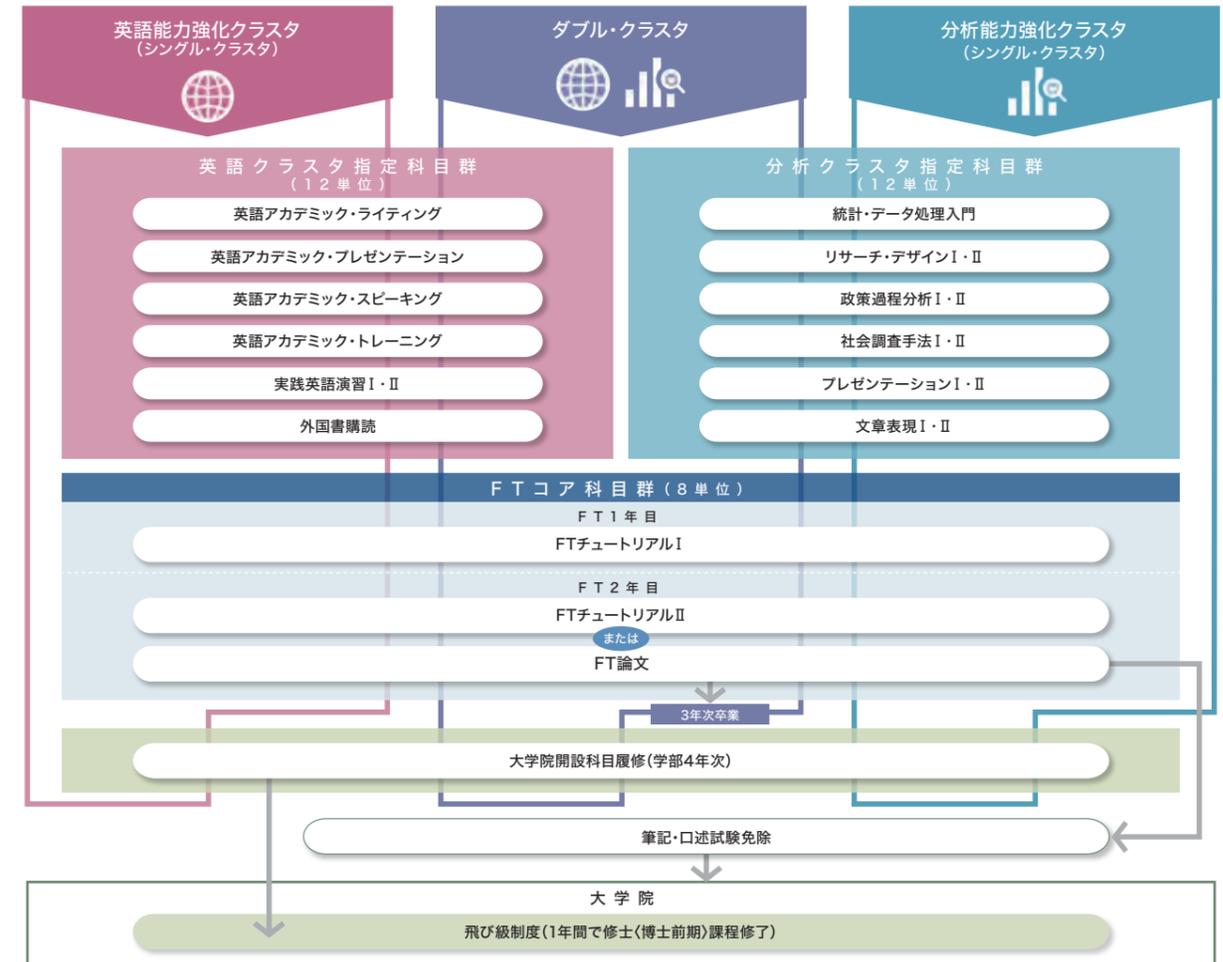
「分析能力強化クラス」の指定科目群では、現実社会で求められている課題の最適な分析手法を学び、その現実的・実行可能な解決に向けた企画や手法を知るために必要な知識・スキルを強化できます。

FTコースを修了するためには、2年間のコース在籍期間内に、「コア科目」から8単位、選択したクラスの指定科目群から12単位以上を修得し、かつ、これらのコア科目と指定科目群の成績について、GPAが3.0以上であることが求められます。コース修了者には、学部4年次に学習院大学大学院政治学研究科の科目を履修す

る権利や、同大学院進学のための筆記・口述試験が免除される特典が用意されています。さらに、所定の条件を満たすことによって、学部の早期(3年次)卒業も可能になります。これらの制度を活用することで、学部入学から数えて5年間で修士号を修得することも可能です。

FTコースでは、選抜された特に意欲ある優秀な学生たちの中で、ハイレベルな授業を受けることができます。大学生活でより大きな刺激を受けたいという方はぜひ参加してください。

## FTコースの流れ



詳細は学習院大学法学部政治学科FTコースオフィシャルサイトをご覧ください。  
<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/law/FTcourse/index.html>





博士前期課程 応用化学・バイオサイエンス専攻 2年  
医生命科学特別専攻

**右田 恵さん**

**早くに研究室に所属したことで  
高い専門性が身につきました**

高校生の頃から生物の授業や実験が好きで、大学ではバイオ系の勉強がしたいと思っていました。そんな中で塾の先生から神奈川工科大学を薦められ、調べてみたらスーパーサイエンス特別専攻がちょうどスタートするタイミング。経済的なサポートがあることに加え、当時は特に海外留学に魅力を感じて受験を決めました。

一般的な学生より1年間以上早く、2年次に現在の研究室に入室し、小池あゆみ先生の指導を受けたことで、実験と研究の違いをしっかりと理解し、「研究って面白いな」と、興味を深めることができました。現在行っている膜タンパク質の研究は、3年次に小池先生と相談しながら選んだテーマです。大学院の修士課程も含めて約4年間取り組んでいますが、基礎研究の段階にあるテーマなので先行研究が少ない分苦労も多い、ですが一方で新しい発見の可能性も秘められたテーマです。新しい発見につながる成果を得た時や、同じテーマで研究を行っている他メンバーの成果と自分の成果がリンクした瞬間は大きな嬉しさがありますね。

**専門性と社会人基礎力を併せて高める**

振り返るとスーパーサイエンス特別専攻の少人数体制の中で、先生方の丁寧な指導を受けられたことが、自分の成長に大きく影響したかもしれません。そしていち早く研究室に所属して先輩方の研究を間近で見られたことも、その後、自分の研究を進める上で、そして研究の魅力を知る上では大きなメリットになりました。

もちろん他の学生達よりも忙しく、勉強が大変な部分はあるかもしれません。けれども海外研修やキャリア教育で「社会人としての力」を身につけながら、研究にじっくりと取り組みことで、研究者に求められる「専門性」も高めることができました。この2つの力を両立して伸ばせたことは、研究者として今後私が進んでいく中で、きっと大きな支えになると思います。

**MESSAGE**

スーパーサイエンス特別専攻は専門的な学びにいち早く触れられること、英語力や社会人を高められることなどのメリットがありますが、私にとっては発表やプレゼンを行う機会が多く、「伝える技術」を高められたことが大きな収穫でした。大学院生になってからの学会発表だけでなく、就職活動でもその技術が役に立ちました。卒業後は主に電子部品の製造開発を行う日本ケミコン株式会社への就職が決まっています。いろいろな考え方を知ったことで、自分の視野を広げることができたと思います。



Thermus thermophilus の生細胞から脱離した線毛を、密度勾配遠心にかけて、精製線毛を分取する。研究では想定通りに行かないこともあるが、そこから新しい発見が生まれる可能性があることが、基礎研究の楽しさのひとつだと右田さんは語ります。

さまざまな研究機器が立ち並ぶ研究室。右田さんが所属する分子機能化学研究室には、計4名のスーパーサイエンス特別専攻受講者が所属しています。

**ハイレベルな教育プログラム  
スーパーサイエンス  
特別専攻**

**スーパーサイエンス特別専攻  
教育プログラムの内容**

- 1 | 大学院進学を原則としている(他大学大学院を含む)。学部卒業後での就職をさまたげない。
- 2 | 1年次、2年次、研究室ゼミが必修科目として置かれている。
- 3 | 特別専攻用の専門基礎導入科目、専門科目が置かれている。
- 4 | 語学教育を重視し、最低TOEIC 600点を取得する英語教育が行われる。(卒業要件)
- 5 | 1年次の夏、3年次の春に2つの海外研修が組まれている(渡航費、宿泊費、研修費の個人負担無し)。
- 6 | コミュニケーション力、プレゼンテーション力、文章力など社会人基礎力をつける特別科目が置かれている。
- 7 | キャリア教育を重視し、1年次から始まるインターンシップ科目が置かれている。

**Pick Up**

**語学力や社会人基礎力も高めて  
学んだ専門知識を世界で活かす研究者・技術者をめざす**

オーナーズ・プログラムは表のように学科に対応する計6専攻を設置しています。どの専攻も大学院進学を原則とし、一般的に3年次後期や4年次から所属する研究室での学びが1年次から必修科目となっており、いち早く研究の進め方や深い専門知識が身につきます。一方で語学教育・社会人基礎力の養成・キャリア教育にも注力するのが大きな特徴。1年次から徹底した語学教育を実施し、1年次と3年次の海外異文化研修では語学教育だけでなく、現地の大学で専門教育の授業を英語で受講します。

キャリア教育では1～3年次にインターンシップを行ない、社会人としての力や企業での経験値を培います。

受講するには、スーパーサイエンス特別専攻入試で合格する必要があります。さらに授業料のほか年間15万円の受講費が必要となりますが、年間60万円の給付金があるので(2年次以降は継続条件あり)、経済負担を軽減して学ぶことが可能。2回の海外研修の渡航費・宿泊費・研修費や、年間3回のTOEIC受検も個人負担はありません。

**学科と募集人員**

所属学科名	対応する特別専攻教育プログラム	募集人数
機械工学科 (航空宇宙学専攻を除く)	機械工学特別専攻	8名
電気電子情報工学科 ホームエレクトロニクス開発学科	電気電子特別専攻	8名
ロボット・メカトロニクス学科	ロボットクリエータ特別専攻	5名
応用化学科 応用バイオ科学科	医生命科学特別専攻	15名
自動車システム開発工学科	次世代自動車開発特別専攻	8名
情報工学科 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 情報メディア学科	ICTスペシャリスト特別専攻	15名



「自ら考え行動する技術者」  
に向けて、  
学生は同じ志を持った仲間と、  
自己目標を達成する

## 夢考房からプロジェクト活動が始動

金沢工業大学では学部学科の授業に加えて、数多くの課外活動（正課外の学習プログラム）を用意しています。これは遡ると1965年の開学時の旗標のひとつとして掲げている『高適な人間形成』、つまりは技術や知識の習得の重要性よりもまず先に人間形成にポイントを置くという、教育方針に基づいた取り組みとなっています。これらの課外活動は現在、『KIT オナーズプログラム』として「学科プロジェクト」「夢考房プロジェクト」「学友会に関するプログラム」の3つに区分され設置されています。そしてこの『KIT オナーズプログラム』が誕生するきっかけとなったのが、そのひとつである「夢考房プロジェクト」です。

「夢考房26」は、1993年に学生がアイデアを具現化できるための場所・道具・材料・知識を用意し、所属学科に関係なくいつでも自由なものづくりが楽しめる空間として建設されました。現在では多くの理工系大学等に自由に活用できるアトリエ（工房）が存在しますが、全国的な先駆けとなったのがこの「夢考房」です。そしてこの「夢考房26」の建設をきっかけとして、金沢工業

大学ではプロジェクト活動を組織的に支援する体制が整い、さらに1998年にはプロジェクト活動の拠点として「夢考房41」が完成。「夢考房プロジェクト」は大学の正課外の学習プログラムとして存在感を高め、学生からの人気を集めるだけでなく、社会的にも高い評価を得ることになっていきます。

2つの夢考房が「新夢考房」として2017年4月から統合された現在、「夢考房プロジェクト」はソーラーカー、エコラン、人力飛行機、ロボット開発、義手研究開発など幅広い領域に及ぶ計13のプログラムで構成されています。スケジュールから予算管理までをすべて学生達の手で行う実践的な内容は、「学科プロジェクト」と同様に『KIT オナーズプログラム』に共通する大きな特徴となっています。

## 学生一人ひとりのための教育

この「夢考房プロジェクト」に加えて『KIT オナーズプログラム』の軸となるのが、「学科プロジェクト」です。「夢考房プロジェクト」との違いは、多くのプロジェクトが学問領域に合わせて学科ごとに区分されている

こと。現在は約40のプロジェクトが進行中で、小学生～中学生向けの心理学ワークショップを行う「サイコロプロジェクト」、納豆菌を活用して農地の土壌改良を行い野菜の品質を高める「ねばープロジェクト」、大学周辺の自治会と連携して行う「防災・減災プロジェクト SoRA」など、バラエティ豊かに展開。なお『KIT オナーズプログラム』には、参加するために必要な資格や試験が存在しない一方で、正課外であることから単位認定等もなく、学生はあくまで自分自身の力を伸ばすことを目的に参加しています。

このように金沢工業大学では、「正課では学力（基礎力と専門力）を、正課外のプロジェクトでは人間力（社会で活躍することのできる力）を高め、学生の総合力（学力×人間力）育成をめざす」という方針のもと、独自性の高い「正課×正課外」の学習スタイルを実現しています。そして正課外では特に実践力の習得にポイントを置いています。この背景には2011年に金沢工業大学が日本の大学として初めて加盟した工学教育の世界標準である「CDIO イニシアチブ」が存在します。

2000年に米国・マサチューセッツ工科大学等を中心につくられた「CDIO イニシアチブ」は Conceive（考

え出す）、Design（設計する）、Implement（実行する）、Operate（操作・運用する）という、未来の工学教育で重視すべきポイントをまとめたもので、卒業生に求める能力をまとめた「CDIO シラバス」と、工学教育のフレームワークを示した「CDIO スタンドワード」という2つに基づいて設定されています。加盟の翌年となる2012年度より金沢工業大学では、プロジェクトデザイン教育を中心としたカリキュラムの刷新を進行。その中で、Conceive（考え出す）と Design（設計する）の力を正課で、Implement（実行する）、Operate（操作・運用する）の力を正課外のプロジェクトで育むという学習スタイルへの移行を実現したのです。

そして今後、金沢工業大学がめざすのは、学生6000人に対して、6000通りのカリキュラムが実現できるような、より柔軟性が高く、学生の個性にマッチングする教育の在り方です。「正課×正課外」という独自の学習スタイルを構築した『KIT オナーズプログラム』は、一人ひとりの力をさらに伸ばす教育の柱のひとつとして、これからも世界が求める力を持った人材の育成に貢献していくことでしょう。



人力飛行機



義手研究開発

## Pick Up



## 特別奨学生としてリーダーシップを発揮 KITオナーズプログラムや リーダーシップアワード生講座を活用

金沢工業大学では、国立大学標準額との差額が給付される「スカラシップフェロー」と、年額25万円が給付される「スカラシップメンバー」という特別奨学生制度を実施し、「授業等の正課」と「KIT オナーズプログラム等の課外活動」の両面で優れた成果を修め、リーダーとなる人材を育成しています。上記2種に選抜された学生は『KIT オナーズプログラム』への参加の他、元 Apple Japan の代表取締役である山元賢治氏など社会で活躍するリーダーによる「リーダーシップアワード生講座」を受講することができるなど、奨学金が給付されるだけでなく、自身の成長を図ることができます。

総合的な技術と知識を養成する  
企業や地域との建築実務を通して



## MESSAGE



**森田 莉都さん**  
建築学部  
建築デザイン学科\*4年  
石川県立  
金沢二水高等学校出身  
※現:建築学科

企業や地域の方々からの依頼ですら、自分の気持ちや勉強の都合で投げ出すことなんてできません。責任のある環境でのものづくりは、机に向かう勉強とはまったく違うもの。「Toiro」を通して、本当に貴重な経験を積むことができました。

スカラーシップフェロー



**山下 楓茄さん**  
建築学部  
建築デザイン学科\*4年  
富山県立  
福岡高等学校出身  
※現:建築学科

大変なことも多く、時間が足りずに悩むこともありましたが、それでもプロジェクトをやり遂げた時の達成感は、すべての苦勞を忘れるほどです。自分が建築が好きだと再確認できる場所であり、卒業後の進路に対する情熱を育むことができる場所でもありました。

スカラーシップフェロー

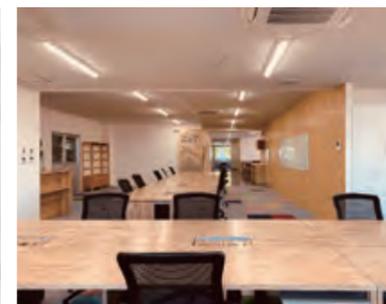
## 提案から施工までを 学生達だけで手掛ける

地域の行政機関などと共同で行うプロジェクト型の授業は、大学での学び方として徐々に増えていますが、不動産業者や一般企業からの依頼を受けて、アパートやオフィスのリノベーションを学生中心に行う、といったらどうでしょうか。このようにまるで普通のビジネスと変わらないスタイルで、学外からの業務依頼を受けたりしながら、建築の知識・技能を高め、卒業後に役立つ社会人基礎力や問題解決力を伸ばせることが、KIT オナーズプログラムのひとつである「Toiro (トイロ)」の特徴です。プログラムは1年次からスタートし、建築デザイン学科(現:建築学科)4年の森田莉都さんと山下楓茄さんも、入学して早々にToiroのスタジオで使用する作業機の制作や地域のお祭りでの空間設計、体験教室の展開などに取り組みました。

「依頼を受けて、企画提案からはじまり、設計から施工まですべてを行うのが基本的なプロジェクトの流れです。設計だけ、施工だけではないから、建築に関する全体的な知識が身に付きますし、プレゼンの力も鍛えられます。大学近くのアパートのリノベーションでは、各部屋のコンセプトの立案からスタートし、人手や時間が限



2018年に当時の3年生14名の手によって進められた小松電業所総務部オフィスのリノベーションで、施主と建設会社と大学の三者の協力のもと、DIYリノベーションも含めた個性的なオフィス空間を実現しました。白山をモチーフとしてデザインされた三連戸もカッティングマシンを使用して学生自身で制作。多様な木質を活用した、表情豊かなデザイン性が大きな特徴となっています。



2012年にスタートした「Toiro」。地域との連携をベースに、家具や各種空間装置のデザインや制作、まちづくりイベント支援などその活動は多岐にわたります。1年次の家具づくりからはじまり、2年次には野々市市カメラ祭りにおける空間演出などを実施、3年次以上はDIYリノベーションやまちづくりイベント支援等を行ないます。

られた中で家具製作も含めて6部屋の施工を行うのが大変でしたね」(森田さん)

「学童の図書室をリノベーションしたプロジェクトが思い出深いです。先輩がいないチームでリーダーを務め、メンバー・スケジュール・予算などの管理だけでなく依頼主との交渉も前面に立って行いました。辛いこともありましたが、信じられないくらい成長や達成感を得ることができました」(山下さん)

## 希少な経験と出会いが 自身の力を飛躍させる

そして2人が声を揃えて「たくさんの大事なことを学ぶことができた」と語るのが、当時3年生だった2人を含む計14人の学生で取り組んだ、(株)小松電業所総務部のオフィスを手掛けた、オフィスリノベーションプロジェクトです。

これまでToiroが手掛けたプロジェクトの中でも、最大規模である同プロジェクトの改修面積は385.52㎡にもおよびます。建設会社と共同で行われたもので、他プロジェクト同様に、リノベーションの企画提案から設計、施工までも学生の手によって行われ、2018年4月から半年以上をかけて、リノベーションの作業が行われまし

た。

「3年次は大学の授業も専門性が高まる時期で、確かにToiroとの両立が大変な1年間でもありました。けれどそんな時間を頑張ってやり遂げられたのは、やはり根底にある『建築が好き、建築がやりたい』という思いだと思います。多くのメンバーとともに活動する中で、お互いを理解し、一人も取り残さないようにするため、「皆が納得するまで話をする」というのが、Toiroの方針のひとつでもありました。メンバー間だけでなく、依頼主の方々も含めて、多くの人と交流し、多くの人と誰かのためにものをつくった経験は、学部の授業ではなかなかできない経験だったと思います」(山下さん)

「ひとつひとつのプロジェクトを通して学んだことはもちろん、個性豊かなToiroのメンバー達と出会い、多くの価値観に触れたことで自分に考え方を広げることができました。建築の学びは机に向かって黙々と作業をすることも多いのですが、そんな中で誰かと一緒にものづくりをする経験を積めたこと、お互いに学び合えて、支え合える仲間に出会えたことは、とても嬉しいことでした」(森田さん)

卒業後、森田さんは建設会社、山下さんはハウスメーカーへと進むことが決まっています。KITオナーズプログラムで培われた力がこれからの2人の大きな推進力となることは間違いのないでしょう。



経済学部 商学科 教授  
「会計プロフェッショナルクラス」  
担当教員

SHIKAWA YUJI  
石川 祐二

経済学部 商学科 教授  
「ITプロフェッショナルクラス」  
担当教員

NAKASUMI MITSUKI  
中 濟 光 昭

「ITのプロ」と「会計のプロ」を養成  
資格取得をサポートするクラスで

駒澤大学の経済学部には、「IT プロフェッショナルクラス」と「会計プロフェッショナルクラス」が設置されています。それぞれ、2年次から受講できるゼミナール（演習）と同等の科目。専門学校である大原学園と連携し、2～3年の期間をかけて、社会に出てから役に立つ専門知識や国家資格取得のための勉強できます。以下では、それぞれの担当教員にコース概要をお聞きしました。

### IT技術から英語力まで養う ITプロフェッショナルクラス

スマートフォンやSNS、オンラインショッピングなど、IT社会の現代では、日常生活のなかでITの果たす役割がとて大きく広がっています。ITは企業経営の中核としても重要な位置を占めるようになり、IT企業はもちろん、一般の企業においてもITの知識を有した人材が必要とされています。そこで、そうした社会におけるニーズに応えるため、駒澤大学では2009年から「ITプロフェッショナルクラス」を開設。原則として2～4年次までの期間、継続して履修し、演習や資格取得、インターンシップなどを通じて、IT系企業でのコンサル

ティング業務やITを活用する会社（金融、商社など）で活躍することができる人材を養成しています。

履修する学生は、大原学園に通学し、ITの国家資格取得をめざすことができます。IT系資格の入門である「ITパスポート」から「基礎情報技術者」、「応用情報技術者」まで、就職活動でも有利になる資格取得のための勉強に取り組みます。また、大原学園で受けた授業については大学での課題提出と合わせて評価し、卒業に必要な単位として最大18単位まで認定を受けることが可能です。

同時に、大学では少人数の演習形式でコンサルティングに必要な理論を学び、事例研究や提案書の作成にも挑戦。専門学校等で学んだ知識を演習によって使える技術として身につけていきます。加えて、可能な限り英語を使用して課題に取り組むのがこの演習の特長です。英語のテキストを用いた演習や英語でのプレゼンテーションを通じて、グローバルなプロジェクトを遂行できる人材の養成に力を入れています。海外のIT企業や大学と連携したインターンシップ、IT業界に勤める特別講師を招いた授業なども実施。英語を使ったコミュニケーションは、必ず社会に出てから役立つものになるでしょう。

そのため、ITの知識習得だけでなく、実践的に英語を学習したいと思っている学生にもおすすめできるクラスです。

### 公認会計士、税理士をめざす 会計プロフェッショナルクラス

駒澤大学と大原学園の協定に基づき実施している「会計プロフェッショナルクラス」は、公認会計士と税理士の国家資格取得をめざす学生を強力にサポートするプログラムです。大原学園水道橋校に通学して簿記論や財務諸表論、管理会計論といった試験科目の問題演習に取り組みながら、大学ではその学習に関わる課題の提出を課します。通常であれば大学の単位を取得しながらダブルスクールで国家資格取得の勉強に励まなくてはいけないところ、このクラスの特異なところは、資格取得に向けた勉強が大学での単位認定につながる点。課題提出によって最大32単位、大学での少人数クラスにて2～4年で12単位が取得可能です。また、大原学園の授業料は学生の自己負担となりますが、協定に基づき10%ほ

どの特別割引を実施しています。合格率10%前後である難関資格の取得に向けて、可能な限り時間を有効に活用してもらいます。学生のモチベーション向上を助けるものとして、実際の公認会計士の方を客員教授として大学に招き、試験に向けた対策や具体的な仕事内容について話してもらう機会もあります。会計事務所へ見学に行くこともあるので、仕事のイメージを持って勉強に精を出してくれることを期待しています。

このクラスには選考があり、履修条件として日商簿記検定2級と同等の実力が必須です。これは簡単な資格ではありませんが、選考の前に駒澤大学経理研究所主催の「会計士・税理士入門コース」（受講料が必要）を用意しているので、そこで履修までの基礎固めをすることができます。毎年、受講する学生は10～20名程度ですが、公認会計士の合格者も輩出しています。課題や授業の復習もとてもハードですが、資格取得のための最善の環境を整えています。公認会計士や税理士になりたい！と強い意志を持って入学してきた学生にぜひ受講してほしいと思っています。



アンリツ株式会社（ICTサービスに関わる最先端企業）にてギャラリーを見学。合同プレゼンテーションを行った台湾国立中央大学の学生とともに（ITプロフェッショナルクラス）



駒澤大学にて、SAPを使った業務改善案をグラフィック・アーキテクト株式会社様に発表（ITプロフェッショナルクラス）

### Pick Up

#### 大学と放射線治療機の世界トップメーカーが連携 最先端の医療機器を駆使し、エキスパートを養成



最先端技術であり、現在医療現場で使用されている機器による技術習得が可能です。また、日本初の三次元バーチャルシミュレーションによる放射線治療技術の疑似体験授業も取り入れています。

株式会社バリアンメディカルシステムズと駒澤大学が、医療従事者に対して放射線治療技術に関する知識やスキルの向上、駒澤大学医療健康科学部、大学院医療健康科学研究科の放射線治療技術教育の高水準化を目的に、2018年4月完成の開校130周年記念棟「種月館」に「駒澤大学－VARIAN放射線治療人材教育センター」を設立。医療健康科学部では医療界の第一線で活躍できる診療放射線技師の育成を目指し、加速器メーカーであるバリアン社と連携し、リニアック室と治療計画室で実機学習を行っています。バリアン社から提供されるシステムは



コミュニケーション学部  
コミュニケーション学科 3年

## 加藤 美香さん

### 本当に学びたいことを学び、 社会で役立つ力が身につく！

#### 1年間広く学んだ上で学部を選択

2017年よりスタートした東京経済大学の「キャリアデザインプログラム (CDP)」では、1年次に経済学部・経営学部・コミュニケーション学部・現代法学部の4学部の入門科目を学んだうえで、2年次進級時に所属学部を選択。さらに「キャリアデザインワークショップ」を4年間継続して受講できます。1期生の一人・加藤美香さんがCDPを選んだのも、「高校時代に大学の学部を決めるのは怖い」という思いからでした。「その点、CDPなら1年次に4学部の基礎科目を勉強でき、“お得感”もありました」

実際、入学時は経営学部を念頭に置いていた加藤さんですが、CDPの学生団体「TKU Unlimited」を立ち上げ、リーダーを務めるうちに、コミュニケーションの重要性を実感。「会社の組織や経営より、そこで働く人について勉強したい」と2年次からはコミュニケーション学部を選択。専門的な学びを深めています。

#### ワークショップで“人に伝える力”を磨く

ワークショップでは学生が数名のグループに分かれ、教員から出された課題についてディスカッションし、発表することを繰り返します。

「最初は方法がわからず、発表時も原稿棒読み状態でした。でも3年間続けることでディスカッションの質も学生の熱量も大きく向上し、とにかく楽しい時間になりました。また、人に伝わるように話すにはどうすればいいのか、考えるようになりました」

グーグルとのワークショップでは「未来の働き方」をテーマに議論を深め、ワークライフバランスを見据えた働き方の重要性について発表。この考察の過程は加藤さんの就職活動にも影響を与え、「ワークライフバランスを軸に企業を探す」と方向性も明確です。「CDPで身についた力は、社会に出てからも大いに役立つと思います」

## MESSAGE

学部選択に悩んでいた高校時代、大学合同説明会でCDPを知り、迷わず選択しました。私の周囲にもCDP以外の学生で「入学前に想像していた学びと違う」と悩む人がいます。「自分が学びたい内容ではない」と思いながら4年間を過ごすのは、とてもつらいこと。その点、CDPにはそのようなミスマッチがありません。大学入学前ではなく、1年間学んでから学部を選択できるのは大きな魅力。最終的には自己責任ですが、覚悟を持って勉強できるのはとてもいいことだと思います。

## どんな未来でも自分の居場所を作れる人に



キャリアデザインプログラム (CDP) の中核を担う新井一央特命講師によると、CDPの大きなメリットは①学部選択を2年次にすることでミスマッチを防げること、②4年間を通じた課題解決型学習 (PBL) のワークショップ

により社会人基礎力を伸ばせることです。①については「世間の評判や親・先生の勧めで学部を選び、後悔する学生をなくしたい」「自分自身の興味の対象を見極め、“学び方を学ぶ”教育を提供する」と強調。②ではすでに効果が表れており、1期生のコンピテンシーやリテラシーの伸びを社会人基礎力テストで調べた結果、同検査を受けた他大学生と比べて対人基礎力・対自己基礎力・対課題基礎力のどれも数値が上回りました。「こうした能力は多くのプロジェクトで経験を積み、内省して、自らの考えを言語化することで養われます。CDPの学生はPBL型授業や課外活動に関わるチャンスが多く、情報共有を図り協働してプロジェクトを進める経験を通し、社会人基礎力を伸ばしていくのでしょ。現代は社会が大きな転換期を迎え、未来を予測しづらい時代。どんな未来になっても、自分の居場所を自分でつくれる社会人を育成することが私たちの目標です」



コミュニケーション学部  
新井 一央 特命講師

産業カウンセラー。  
キャリアコンサルタント。  
中央大学法学部法律学科卒業。獨協大学大学院法学研究科 刑事法専攻 修士課程修了。主な研究分野は、キャリアデザイン。学習センターで開催される講座「キャリア基礎力と大学生生活の過ごし方」「自己PR・志望動機の固め方と伝え方」「授業の聴き方・ノートの取り方講座」などの講師も務めている。

## Pick Up

### 「考え抜く実学。」

### 2020年、東京経済大学は創立120周年を迎えます。

東京経済大学の理念は「進一層」と「責任と信用」。東京経済大学の前身大倉商業学校が創立されたのは1900年。創立者の大倉喜八郎は、渋沢栄一の盟友と呼ばれ明治・大正期にかけて日本の近代産業を発達させた実業家です。大成建設やサッポロビール、帝国ホテル、帝国劇場など設立に携わった企業は200にも上ります。またヨーロッパをはじめ世界各国との直貿易に進出し、日本の世界貿易の礎も作りました。

そんなチャレンジ精神旺盛な創立者は、実践的な知力を身につけてグローバル社会で活躍する人材の育成をはかる目的で本学を創立しました。

120年経った今もその意志が脈々と流れる19世紀最後の年に生まれたこの大学で、22世紀まで生き

る学生たちは学んでいます。  
考えて、考えて、考え抜く。それが東京経済大学です。





日米間の架け橋となって  
さまざまな分野で活躍できる  
人材を育成



議論や協働プロジェクトを行う  
新しい学習スタイルの「COIL 型授業」

南山大学が文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択され、2018年から進めている「COIL 型授業」の「COIL」とは「Collaborative Online International Learning」の略称で、オンラインを活用した国際的な双方向の教育手法を意味する。

オンライン授業といえば、離れた場所の講義風景をビデオやライブ映像で一方に流す方法が一般的だが、「NU-COIL」は、主にアメリカの協定校の学生と日本の学生が SNS や LMS (Learning Management System) でやりとりできる授業の仕組みを構築した。

この授業では、日米双方の学生が10数名ずつ LINE や facebook などの SNS でつながり、海を超えて議論を行いながらプロジェクトを進めていく。作った資料を日本の学生が送ると、アメリカの学生から意見が返ってくる。双方の発言や送信の内容は、日米の担当教員が見守りながら必要に応じて適切なアドバイスを行う。こうして、学生は教室にいながらアメリカの学生との間で、外国語や日本語を駆使しながら密な交流を行う。

3段階に分かれた COIL 型授業はまず1年次の「ベー

シック COIL」で、文化交流や言語交流の基本を学ぶ。英語コミュニケーションの初級者向けに、友だちや留学先で互いを支援しあう「バディ」をつくることを目的に置く。こうすることで学生がスムーズに留学できるように導いている。

その後には学生は、既存プログラムおよび COIL 導入によって新設された留学プログラムを利用し、数週間短期留学に出ることが推奨される。海外の学生も、南山サマープログラムや教員引率型受け入れプログラムのため来日することから、お互いのキャンパスで実際に顔を合わせる機会を得る。

この経験をベースに、外国語運用能力を向上させ、3年時の秋に交換留学に行くことを勧めている。出発は翌年の夏のため、それまでの間の準備として受けるのが2段階目の「アカデミック COIL」の授業だ。

「アカデミック COIL」では、日米両国の政治、経済、文化など、留学先で専門的な勉強をするために必要な知識について、COIL 型授業で学習する。留学した際に文化背景の違いに戸惑わず、自ら積極的に現地の学生たちに混じって学ぶことができるスキルの獲得を目指す。そうして準備を終えた学生は、3年次の8月には、約1年

間の長期留学に出発する。

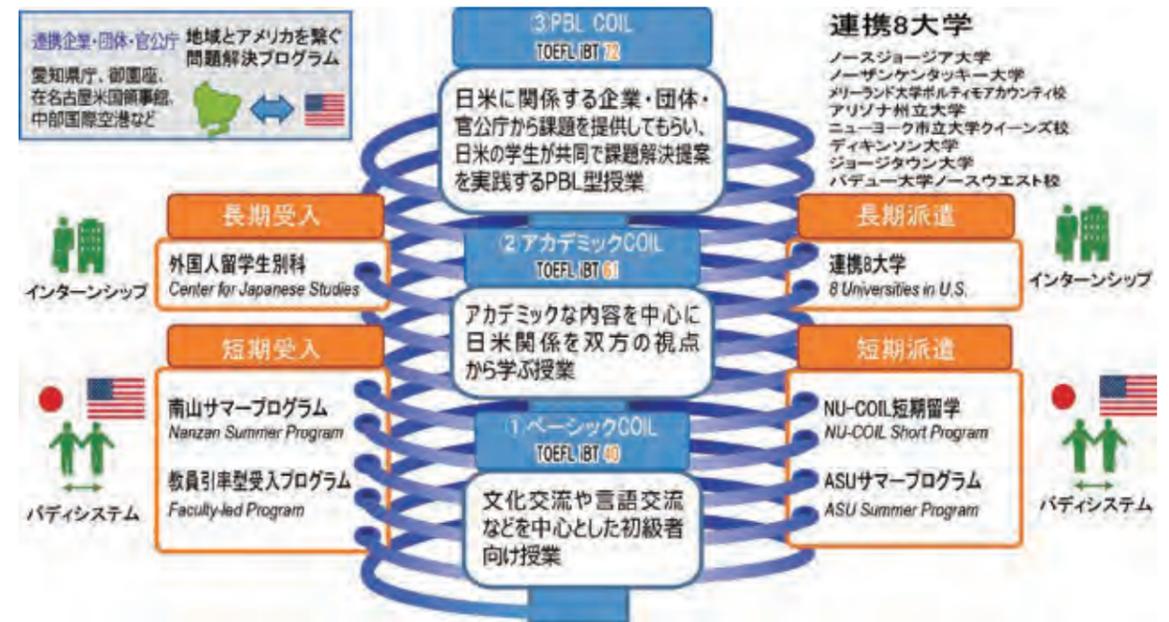
帰国後の4年次秋からは、3段階目としてさらに実践的な内容の「PBL (Project Based Learning) COIL」を受講する。これは愛知県内の官公庁や団体、企業から、日米双方の行政やビジネスに関わる課題を提供してもらい、両国の学生が協力してリサーチ、議論のうえで解決策を提案するというもの。課題を出してもらった企業や団体は、大学の近くにある組織を重点的に選んでいるため、受講者にとってその後のインターンシップや就職にもつながる体験ができる。

全学生が参加できるプログラムを目指して

南山大学は昔からアメリカの大学への留学に強いことに定評を持ち、交換留学の提携校は約40大学がある。

今回の「NU-COIL」プログラム開始当初にはそのうち8校が参加した。スマートフォン1つあれば特別な設備や機器も必要がないため持続、展開も容易で、アメリカ以外のヨーロッパ、アジア、オセアニア諸国の大学とも連携を開始している。

また、理系学部も擁することから、人文社会科学系だけでなく、理系分野での「COIL 型授業」の導入も検討を進める。本格的な留学の前に、オンラインで現地の学生との「顔の見える関係」を構築できることは、一人での海外生活に不安を抱える学生にとって大きな安心材料となるだろう。実際の社会課題をテーマに、海外の学生と議論しながらともに研究し解決の道を探る経験は、実践的な外国語運用力に加えて「異文化の中で力強く生きる力」の養成にもつながるはずだ。



文部科学省 大学の世界展開力強化事業(2018年度選定) 南山大学取り組み概要

Pick Up

Multi-cultural Exchange Lounge  
多文化交流ラウンジ(stella)



多文化交流ラウンジ(愛称:Stella)は、すべての南山大生が自由に多文化交流を体験できるスペースです。ラウンジでは様々なイベントが企画され、留学生による国紹介など気軽に参加できるものから、トークセッションなどのアカデミックなものまで幅広く開催されます。また、学生スタッフ Nanzan International Ambassador(NIA)として、イベントなどの企画・立案などに携わることもできます。自分自身の興味、関心に合った多文化交流の一步を踏み出してください。



GDSの授業風景

世界レベルの人材育成  
「ゼミの武蔵」が描き出す  
少人数だから実現できる。



山寄 哲哉 学長  
TETSUYA YAMASAKI

て、一人ひとりが確固たる目標や学びのテーマを見出すことができたようです」と山寄哲哉学長は語ります。

### 2017年度から3学部 に学びを拡充

経済学部でPDPがスタートした2年後、2017年度からは人文学部の「グローバル・スタディーズコース(GSC)」、社会学部の「グローバル・データサイエンスコース(GDS)」が開始されました。

国家の枠組みを越えたグローバルな課題を解決できる人材をめざす人文学部のGSCは、高度な語学力と世界の文化や課題への理解を深めるコース。英語プログラムでは、「1年次の第2クォーターには8週間の海外集中英語研修で英語漬けの日々を送り、飛躍的に英語力を伸ばします。1年間でTOEICスコアを100点以上アップする学生もいます。現在3年生になった一期生の半数近くが700点越えを果たし、800点を越える学生も少なくありません」と山寄学長が語る通り、特訓プログラムや正課外の個人指導などで、集中的に語学力を高める仕組みが特徴。また、Global Relations<国際関係>、Global Literature<グローバル文学>、Global Japanese Studies<グローバル日本文化>の3分野を通して、語学力だけでなく、幅広い教養と視点を身につけていきます。

一方、社会学部のGDSは、1年次に実施される6週間の海外英語研修に加え、近年、企業や行政の活動で高い注目を集めているデータサイエンスのスキルを習得す

るコースです。2~3年次には4週間以上の協定留学や学生が自ら企画した課題に取り組み、国際ボランティアや企業インターンシップに参加する「GDS実践」を実施。「学生はオーストラリア、フィリピン、ポーランドなど世界各地でのボランティア活動や企業インターンシップを経験します。大学で学んだ知識や技術を実践の場で活用することで、実践的応用力や学んだ知識の定着が図られます」と山寄学長は語ります。社会学部に必要とされる深い社会学的洞察力と柔軟な発想力に、未来を担う重要なテクノロジーであるデータサイエンスと国外へと活躍の場を広げるための語学力を重ねることで、世界の将来を担うグローバル人材の素養が培われます。

武蔵大学では、学園創立100周年となる2022年4月に、国際教養学部(仮称)の新設を構想しています。2015年度からスタートし、現在、展開されているグローバル人材育成のための発展的な取り組みを更に推進していくことが狙いで、その中心を担う存在となるのがこの国際系の新学部。そして、その学習内容の軸となるのが「リベラルアーツ&サイエンス」です。人文社会科学・自然科学を広く含む総合科目、専門科目、外国語科目を英語で学ぶことを目指すこの新設学部の誕生により、「ゼミの武蔵」という言葉で体現されていた少人数の緻密で丁寧な学習環境を基盤として実施されてきた武蔵大学のグローバル教育は、より一層のレベルアップが図られることになるでしょう。

### 「ゼミの武蔵」のグローバル教育

1年次から全学生がゼミに所属、そのゼミも毎年400以上開講するなど、「ゼミの武蔵」として少人数の緻密な教育体制が認知されている武蔵大学ですが、近年ではさらにグローバル教育への注力も進めています。その象徴ともいえるのが、2015年度から経済学部でスタートした「ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム」(PDP)です。

PDPとは武蔵大学に通いながら、すべての試験に合格すれば、ロンドン大学と武蔵大学の2つの大学の学位が取得できるプログラムです。海外の大学の学位が取得できる制度としては「ダブルディグリー」や「ジョイントディグリー」といった制度もありますが、これらの制

度との大きな違いは、海外留学を通して連携する大学間で単位を認め合うのではなく、留学をしなくても、武蔵大学のキャンパスでロンドン大学のプログラムを学ぶことができるという点です。

「ロンドン大学といえば、世界の大学ランキングでも上位に入る名門大学です。PDPはすべての授業が英語で行われるので、授業の内容をしっかりと理解し、その内容を自分のものとするためには、毎日数時間の予習復習が欠かせません。もちろんロンドン大学の卒業試験に合格することは、並大抵の努力ではかなわないものです。しかしながら2019年の夏には、見事にPDP一期生からロンドン大学の学位取得者が誕生しました。PDPに参加した学生達は皆、語学力や知識だけでなく、仲間たちと切磋琢磨した経験や身につけた幅広い視野を通し

### ゼミの武蔵のグローバル教育を支える仕組み

#### on Campus

身近な場所でグローバル体験



MCVは外国語や異文化を楽しみながら学べる参加体験型学習スペース。外国人スタッフとのフリートークができるほか、無料の英会話レッスンもある。

#### in Japan

日本にいながら海外の大学へ



テンブル大学ジャパンキャンパスとの単位互換プログラムやディーキン大学(豪)からのスタディツアーへの参加など、国内で国際性を養う機会を提供。

#### go Abroad

異文化環境を肌で感じたい



協定留学、外国語現地実習、学生海外研修、グローバルインターンシップ(GI)プログラムなど多様な制度を提供。現在、協定校は14カ国、30校あります。

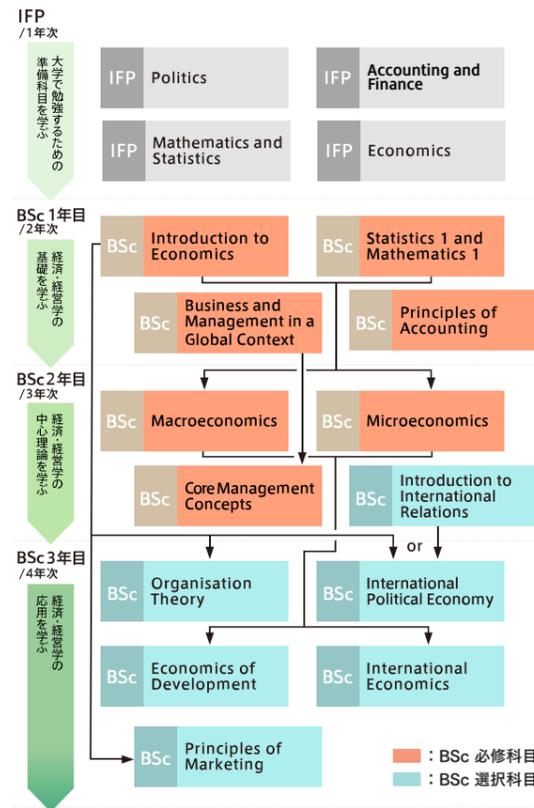
## いつものキャンパスで学ぶ 世界基準の経済・経営学 —— PDPの仕組み

「ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム」(PDP)は経済学部の入学生30名程度を対象とし、語学や数学の成績などで選考を行います。

選考を通過して受講を認められた学生はまず、1年次の4~7月の約3か月間、授業や海外英語研修で英語力を鍛え、ケンブリッジ大学英語検定機構などが運営する英語検定試験である「IELTS」を受験します。ここでスコア5.5以上を取得できた学生は、1年次の9月からロンドン大学のIFP(基礎教育プログラム)科目を4科目履修し、IFPの期末試験に合格すると、2年次の9月からBSc(専門教育プログラム)を履修することが可能となります。そして3年間で12科目を学び、毎年の試験に合格すれば、ロンドン大学の経済経営学士号を取得できるという仕組みです。なお、これらの科目は通常の授業と同様に、武蔵大学のキャンパス内で武蔵大学の教員によって英語で講義されます。ただし試験問題の出題や採点、評価はロンドン大学とロンドン・スクール・オブ・エコノミクスが担当します。

「学生にとっても教員にとっても、高い水準を求められる厳しいプログラムです。ただし学んだことの価値は世界に通じる本物です」と語るのはPDP教育センター長の鈴木唯教授。2019年度には、PDPの最初の卒業生

### 履修系統図



となる一期生から、ロンドン大学の学位取得者が誕生。しかもそのうちのひとり「First Class Honours」(トップクラスの試験評価獲得者)を獲得するという、想像以上のスタートをきることができたという。

「私が以前教鞭を執っていたアメリカをはじめとした海外の大学生に比べ、日本の大学生は勉強にける時間が短い。世界で活躍することを目指す上で、この現状はどうしてもネックとなってきます。PDPの取り組みは、この日本の大学教育の課題を打開する、価値のある取り組みとなるはずだ」(鈴木教授)

なお、PDPを受講する学生には成績に応じて、ロンドン大学の登録や英語研修にかかる費用について奨学金によるサポートも用意されています。



鈴木唯 PDP教育センター長



PDPの授業風景

## STUDENT'S VOICE



萩原 綾音さん

経済学部 経営学科  
PDP 1期生  
(2015年4月入学)  
都立富士高等学校出身

### 2つの学位は自分の誇りに。First Class Honoursの評価獲得

PDPに参加し、より多くのことを学ぶことができました。特にSIM<sup>\*1</sup>への留学では日本とは全く異なる環境での経験を通じて、大きく成長できたと思います。日々の学習では、効率を重視。自分に合った勉強法を模索しました。質問をしたり、友達に教えたりすることを通して、自身の知識を整理するようになりました。

1期生のため、前例のない中での授業や試験対策は大変でしたが、ともに勉強する友達の存在は心の支えとなってくれました。苦労もありましたが、それを努力で乗り越えることができ、良かったです。武蔵大学とロンドン大学、2つの学位を取得できたことに加え、First Class Honours<sup>\*2</sup>の評価を頂けたことも、誇りに思っています。

今後は、PDPで学んだ知識を応用して、多くの企業商品のマーケティングで活躍したいです。

### 教授や仲間との距離が近く、充実した環境で学ぶことができた

少人数で授業を受けることができ、教授との距離が近いことから積極的に質問する機会にも恵まれました。学習環境は非常に充実していたと感じています。限られた時間の中で2つの大学の授業をこなさなければいけないため、計画的な時間の使い方が身につきました。長時間の勉強で精神的に疲れてしまうこともありましたが、仲間と協力して日々の学習をすることで、モチベーションを維持できたと思います。

授業では議論をすることも多く、就職活動の面接やグループディスカッションの際に、自分の意見を論理的に伝えるのに役立ちました。PDPを通じて得られた新しいことにも積極的に挑戦するマインドは、就職後も役立つと考えています。卒業後はPDPでの経験を活かして、自ら社会に影響を与えられる仕事に携わっていきたくです。



遠藤 開智さん

経済学部 経営学科  
PDP 1期生  
(2015年4月入学)  
静岡県立  
富士東高等学校出身

### 見える壁は崩す。IFP Economicsで世界第2位の成績を獲得!

入学後にPDPを知り奮起、英語がそれほど得意ではなかったけれど、とことん勉強することを決意しました。質の高い授業が続き、1年次はかなり苦労しましたが、十分な予習をしながら壁をくずしていくスタイルで臨みました。1年次夏のセブ島語学研修が大きな転機になったと思います。同じ目標を持つ海外の友人達と行動することで英語のコミュニケーション能力がぐんとあがりました。社会には正解のない課題がいっぱいあります。仮定があつての結論なので、色々な視点から問題点を議論することで、物事を俯瞰して見る力や分析力が身についたと思います。また、IFPの試験で世界第2位の成績を取得したことも大きな自信になりました。PDPでは、授業中分らないことがあれば、授業を止めてでも質問できる環境があります。今後、LSE<sup>\*3</sup>への留学や、イギリスのインターンシップへの参加などを考えています。

\*1: Singapore Institute of Management の略

\*2: First Class Honours: 合格者は試験のスコアによって First (スコア 70-100)、Upper Second (60-69)、Lower Second (50-59)、third (40-49) に分類される。スコア 40 未満は fail (不合格) となる。First Class Honours は最も優秀な成績。

\*3: ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス

## Pick Up

### LSE (ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス) が海外留学協定校に!!



PDPは留学せずともロンドン大学の学士号が取れることが1つのメリットですが、留学もできます。2019年度よりLSEと海外留学協定を結んだため、条件を満たせば、LSE The General Courseへの留学が可能になりました。また、短期であれば3週間留学のSummer Schoolもあります。LSEは経済学の分野で世界でもトップクラスであり、LSEに留学できる日本の大学はごく僅かです。世界中から集まった優秀な学生と一緒に学べる良い機会になるでしょう。



すべての学生に  
小学校教員の道をひらく  
小学校教員免許プログラムは、  
「教育の明星大学」の証し

## 学部とプログラムの両立にチャレンジ

明星大学には通学課程のほか、教員養成を主な目的とした通信教育課程があります。他大学に先駆け1967年にスタートし、これまで17万人を超える学生が学び、近年では毎年300人以上の学校教員を輩出しています。

2010年、この通信教育課程を活用して、教育学部以外の学生も在学中に小学校教員免許の取得ができるようスタートしたのが「小学校教員免許プログラム」です。小学校教員になる夢を持っていたものの、やむなく他学部で勉強している学生が少なからずいました。「それでも教師になりたい」と思う学生をサポートしたいという考えもあり、通信教育課程のカリキュラムをアレンジして、制度として整備しました。

ただし、学部の勉強と小学校教員免許プログラムを並行して勉強し続けることは、容易なことではありません。プログラム参加については選考試験を実施しますが、とくに面接では、覚悟を持って勉強をすること、必ず教員になるという強い意志があるかを確認しています。

プログラムの学習は2年生から始まります。勉強の進め方は、自学自習で教科書を読んで理解し、レポートを提出し、科目終了試験を受けます。また、週末や長期休

暇を利用した短期集中型のスクーリングに参加します。カリキュラムは29科目、60単位にのぼります（学部で教職課程を履修していない場合）。さらに3年生では、特別支援学校と社会福祉施設での介護等体験に参加。4年生になれば、4週間の教育実習に臨みます。

プログラムのなかでも、スクーリングは通信教育課程の学生と一緒に授業を受けます。グループディスカッションでは、20代の学生から30代、40代の社会人もいて、さまざまな考えや意見に触れる機会になります。そのなかには現役の教員が異なる免許取得のために参加しているケースもあり、学校現場の生の話は大いに刺激になるようです。スクーリングは学生たちにとっては、同じ志を持った仲間たちとの新鮮な出会いの場所であり、教師という仕事をめざすモチベーションを高める機会といえます。

## 将来は希望するすべての学生にプログラムを提供したい

私は小学校教員免許プログラムの策定にも携わっていました。初年度に教育学部進学が叶わず、経済学部で勉強しながらプログラムに参加した女子学生がいました。

彼女も2年生・3年生の勉強の大変さを話していましたが、努力の甲斐あって、教員採用試験に見事合格。先輩学生が不在のなかで、パイオニアとして成功体験を勝ち取った笑顔はいまでも印象に残っています。そのような学生が常に学内にいることを思うと、私たちスタッフもできる限りのサポートをしていきたいと考えています。

教員を志望する学生は、子どもが好きなことはもちろん、包み込むような優しさを身につけ、分け隔てなく人に接することができる学生が多いように見受けられます。頭がいい、賢いだけでは良い教員にはなれません。現場では大人の言葉がまだまだ理解できない小さな子どもを相手に対応しなければなりません。ゆたかなコミュニケーション力と柔軟な対応力が求められます。

大学では「自己確立」「自己実現」を果たすことを謳っていますが、そのために体験教育を数多く実施していま

す。授業ではグループワークを通して意見交換をしたり、作業をすることも多く、地域における体験教育では、多摩地域の企業や自治体と連携し、それぞれの課題解決を図っています。さまざまな人たちと出会い、関わることで人間力が培われます。学部のそうした取り組みも教員養成には欠かせない学びとなっています。

明星大学のどの学部に進んでも小学校教員の免許取得を叶えるのが、小学校教員免許プログラムです。教育学部にこだわらず、自分が望む勉強と教員免許取得の二つを同時に手に入れるという考え方もできます。学生の可能性を広げることができるプログラムとして、今後は希望する学生全員に参加してもらえるよう、私たちも検討を重ねてまいります。

明星大学 アドミッションセンター長 中西 徹

## Pick Up

### 建築学部建築学科 2020年4月誕生！



「建築のチカラ」で確かな建物・空間とたくさんの笑顔を生み出すことができる「建築のプロフェッショナル」を育成するため、2020年4月、建築学部建築学科が誕生します。学びの特徴としては3つ。

#### 1. 体験を重視した学び

明星大学は開学当初より実際の体験を通じて知識や技術を身につける体験教育を実施。この経験と実績を新しい建築学部でも活かします。

#### 2. 教養、知識・技術、創造性をバランスよく培うカリキュラム

特定の分野に偏らない幅広い教養的知識や建築学の専門知識と技術、今日的課題への対応を含む発展的知識を育むことができるカリキュラム。

#### カリキュラムのポイント

- I 体系的かつ体験的に学ぶ「基礎科目」「専門基幹科目」「専門発展科目」
- II すべての卒業生が一級建築士の受験資格を得られる科目構成
- III 設計製図を柱に据え、希望進路に応じた「3つの履修モデル」

#### 3. 専門性と発展的技術を磨く3つの履修モデル

学生それぞれの目的（進路）に合わせた建築の課題解決力を養うため、以下の3つの履修モデルを用意します。

- I 建築デザインモデル…建築デザイン（意匠）などを中心に、建築を総合的に学ぶモデル
- II 住宅デザインモデル…主に住宅建築に関して学べ、インテリアなども学べるモデル
- III 建築都市エンジニアリングモデル…主に大規模建築や都市などの強度や安全性などを追及するモデル





人文学部(現:心理学部) 心理学科 4年

## 佐藤 芳知さん

### 教師になるために、心理学を学び、 小学校教員免許プログラムに参加

#### 社会人学生と学ぶスクーリングに手応え

小学校時代の担任の先生が厳しくも温かい先生だったことや、母親が中学校の音楽教師で、生徒たちに慕われている姿を間近に見て、教師を将来の自分に重ねるようになりました。高校に進学すると母親から「教師になるなら心理学を勉強してね」と言われました。いまの教育現場では、特別支援を必要としている子どもたちをはじめ、さまざまな家庭環境で育った子どもたちを理解するため、心理学の勉強が必要なのだと話してくれました。

小学校教師をめざす場合、教育学部に進学するのが一般的ですが、自分の強みを持つためにも心理学を専攻しようと決断。明星大学は教育分野では有名ですが、心理学を専攻することもでき、さらに小学校教員免許が取れる小学校教員免許プログラムがあることを知り、進学を決めました。

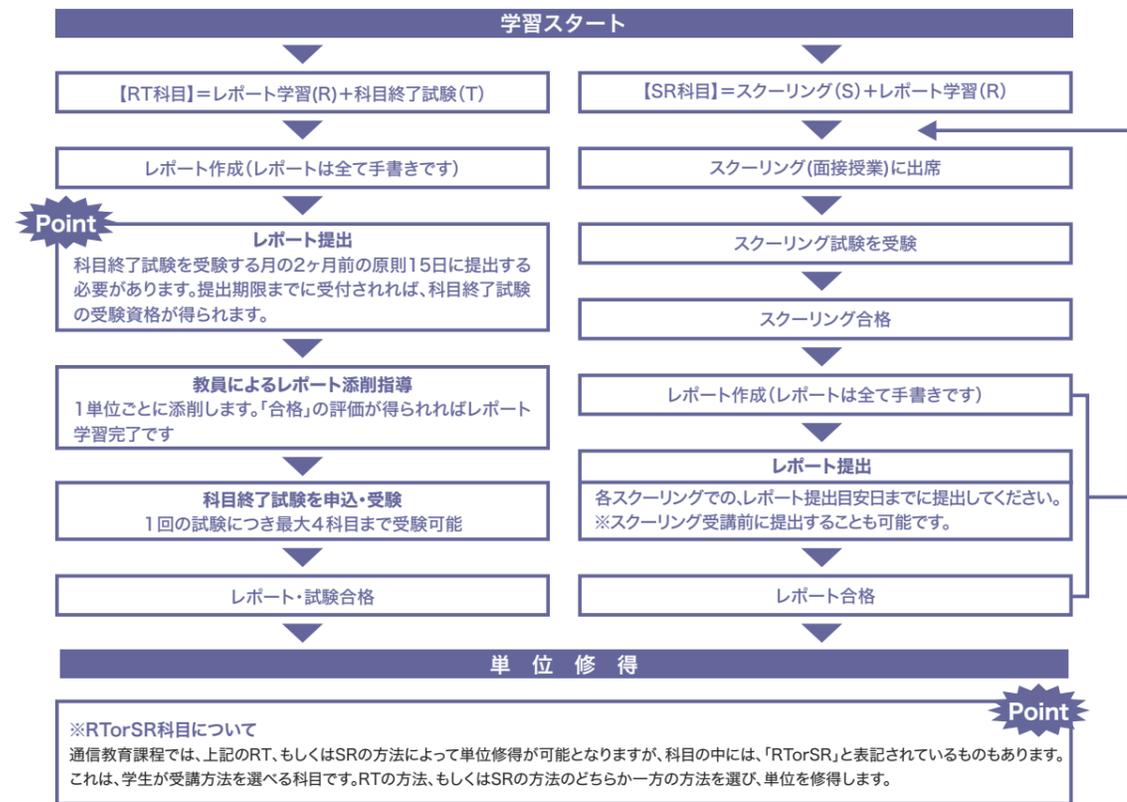
大学に入学した1年目は心理学科の勉強に打ち込み、1年の終わりに小学校教員免許プログラムの選考試験に挑戦。面接では、3年間、学部と並行して勉強する覚悟を問われました。実際、安直な気持ちでは、その後の勉強の持続は難しいと思います。

2年生になるとプログラムの勉強がスタートします。ふだんは自習をしながらレポートを提出し、土日の休日や長期休暇にスクーリングや試験を受けます。授業科目は30科目に及び、介護等体験や教育実習もあります。すべてをやりきるには、時間管理を徹底し、朝早く起きて教科書を読み、授業の合間の時間を利用してレポートを書きました。スクーリングは、幅広い年齢層の方や現役の中学校の先生と一緒に学びました。グループディスカッションでは、社会人の方のものを見る視点やコミュニケーション力を垣間見ました。とくに「生活」や「道徳」といった科目では、自分の考えの浅さを痛感。スクーリングは最も手応えを感じる時間でした。

#### MESSAGE

教師は人間力が必要だと思います。高校生なら勉強と部活動などの課外活動に必死で取り組むことで、それが近い将来に生きてきます。私の場合、小学校2年から高校3年まで、サッカーに打ち込みました。そこで忍耐力、精神力を身につけることができたと思います。サッカーの朝練に比べれば、早起きして勉強することは易しいし、何かを途中で諦めることは考えられない選択でした。さまざまな経験の引き出しを持ちながら、理想の教師をめざしてください。

### 小学校教員免許プログラムの単位修得までの流れ



3年生の3月になると、教員採用試験に向けた勉強を開始しました。授業がある日以外は朝9時から夜9時まで、図書館にこもって勉強しました。教育実習では盛岡の母校の2年生を担当。緑り上がりの足し算をカードを使って、視覚で理解できるように教えました。1週間もたつと「今日は面白かったよ」とか「面白くなかったな」など邪気のないリアクションが返ってきて、子どもたちの率直さに触れました。教員採用試験は東京都と岩手県に挑戦。見事、両方に合格することができました。

一方、学部では3年生になると、ゼミで発達臨床心理学を研究し、卒業論文は自閉症の子どもたちの学習について考察しています。教師として、家庭環境も個性もさま

ざまな児童たちのなかでの学級運営は簡単ではありません。子どもたちの背景を知り、柔軟に考えられるような素地をつくったつもりです。例えば、いじめや不登校は、目に見える要因だけではない場合が多く、心理学を勉強しなければ「なんでそんなことで躓くの？」と平気で言っていたかもしれません。とくに現代の教育現場の問題については、私たち世代がしっかり勉強して、現場に還元する必要があると思います。

卒業後は、地元の盛岡に帰ります。障がいをもつ子どもたち、一人親家庭、社会的な弱さをもつ子どもたちへの理解を深めながら、すべての子どもたちが「学校生活は楽しい」と言える学級運営をしたいと考えています。

# 九州産業大学

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY



## 学部学科

理工学部：情報科学科／機械工学科／電気工学科 生命科学部：生命科学科 建築都市工学部：建築学科／住居・インテリア学科／都市デザイン工学科 国際文化学部 人間科学部 経済学部 商学部 地域共創学部 芸術学部 造形短期大学部 大学院

## 新たな知と地をデザインする大学へ

2020年に創立60周年を迎える九州産業大学。理工系、人文系、社会科学系、芸術系の10学部22学科を有する総合大学として、「産学一如」の建学の理想のもと、「地域密着型大学」としての姿を追求し続けている。

また、創立100周年に向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へもっと自由に。もっと自由に。」を早くも発表。このビジョンのもと、グローバル化やAI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）といったキーワードによって語られる時代の変革にどう対応していくか。学部学科ごとに紡ぐストーリーに、学内外から注目が集まっている。

近年、社会変化に対応した教育改革も推進。入学から卒業に至るまで、入門→基礎→応用というように学びの深度に合わせて体系的に学ぶことができる「KSU 基盤教育」のほか、学生が地域と連携し、商品開発やプロモーションなどの課題解決に取り組む「KSU プロジェクト型教育」を推進。さらに、2016年の芸術学部、翌年の理工系学部の再編に続き、2018年には保育士不足や地方創生、観光振興など、地域が抱える課題の解決に貢献できる人材育成を視野に、「人間科学部」と「地域共創学部」を新設。学部学科再編の第1ステージが完了し、現在は10学部22学科の教育改革を定着・改善させる第2ステージを進展中だ。

また、文・理・芸の3領域が有機的につながりながら多様性あふれる学修環境が整っていることも同大学の強み。この多様性により、学生の感性や発想力、コミュニケーション力が養われている。今後も、産業界を牽引する、「実践力」「熱意」「豊かな人間性」を持った数多くの人材が、ここ九州産業大学から輩出され続けるだろう。

## お問い合わせ先

〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台 2-3-1

入試課

TEL：092-673-5550 FAX：092-673-5988

<https://www.kyusan-u.ac.jp>



# 学習院大学

GAKUSHUIN UNIVERSITY



## 学部学科

法学部：法学科／政治学科 経済学部：経済学科／経営学科 文学部：哲学科／史学科／日本語日本文学科／英語英米文化学科／ドイツ語圏文化学科／フランス語圏文化学科／心理学科／教育学科 理学部：物理学科／化学科／数学科／生命科学科 国際社会科学部：国際社会科学科

## 歴史あるキャンパスの中で行われている トップクラスの研究

山手線の目白駅から徒歩30秒という抜群のロケーション、緑豊かな空間に最新施設と歴史建築が共存する美しいキャンパスで、5学部の1年生から4年生、大学院生・法科大学院生を含めすべての学生が学び、研究を行っています。

個人を尊重する大らかな気風のもと、文理両分野にわたる広域な基礎教育と多彩な専門教育を提供。教員は研究者としても活発な研究活動をしており、その研究力の高さは、2018年に発表されたNature Index2018で日本の大学の中で1位とされました。大学生活の最後には、その分野でトップクラスの活躍をする教員と、研究という共通の目的をもった仲間として接することになります。

歴史と伝統が培ったキャンパスの雰囲気の中、中規模総合大学ならではの少人数制教育と学生支援体制、充実した教育研究環境を備えています。

## お問い合わせ先

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

学習院大学学長室広報センター

TEL：03-5992-1008

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp>



# 神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



## 学部学科

工学部：機械工学科（航空宇宙学専攻含む）／電気電子情報工学科／応用化学科 創造工学部：自動車システム開発工学科／ロボット・メカトロニクス学科／ホームエレクトロニクス開発学科 応用バイオ科学部：応用バイオ科学科 情報学部：情報工学科／情報ネットワーク・コミュニケーション学科／情報メディア学科 健康医療科学部：看護学科（看護師・保健師養成課程）／管理栄養学科（管理栄養士養成課程）／臨床工学科（臨床工学技士養成課程）  
※工学部臨床工学科、応用バイオ科学部管理栄養士学科、看護学部看護学科は、健康医療科学部のもとに再編します。管理栄養士学科は管理栄養学科に名称を変更します。

## 2020年4月健康医療科学部を新設

看護学部看護学科、応用バイオ科学部管理栄養士学科、工学部臨床工学科の3学科を再編し、2020年4月に健康医療科学部を新設。看護学科、管理栄養学科、臨床工学科の3学科で構成される新学部がスタートします。3学科は看護師・保健師、管理栄養士、臨床工学技士の4つの国家資格取得を目標とする内容。これらの国家試験問題は、化学、生物、物理、数学といった理系分野の知識、思考力の有無を問うものが多く、理工系大学の学びと相性のいい点が特徴です。また、それぞれの業務では、専門分野の知識に加えて、今後、工学や情報学等との連携が重要になってきます。そこで理系の基盤教育を行い、実験研究を行ってきた理工系大学としての利点を生かし、国家資格取得+αの教育と研究を実現します。

## 充実した環境と就職支援

「すべては学生のために」をポリシーとする神奈川工科大学。充実した学習環境はその象徴ともいえますが、中でも中心的存在が3Dプリンターや陶芸、鋳造加工などの設備を備え、学生の自主的なものづくりを支援する「KAIT 工房」です。さらに2020年には「世界一美しい広場」をめざす「KAIT 広場(仮称)」が誕生の予定。充実したキャンパスの環境が、より豊かで魅力的なものへと進化します。

また大学のさらなる特徴として挙げられるのが、就職支援への注力。業種と職種に精通し、学生一人ひとりの多様な相談に応じるキャリアアドバイザーや多彩な就職支援イベント、キャリア教育を行った結果、2018年度には98.1%の内定先満足度を実現。一人ひとりの個性・強みと将来を確かにマッチングさせるサポートが形成されています。

## お問い合わせ先

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030

企画入学課

TEL：046-291-3002

<https://www.kait.jp/>



# 金沢工業大学

KANAZAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



## 学部学科

工学部：機械工学科／航空システム工学科／ロボティクス学科

電気電子工学科／情報工学科／環境土木工学科

情報フロンティア学部：メディア情報学科／経営情報学科／心理科学科

建築学部：建築学科

バイオ・化学部：応用化学科／応用バイオ科学科

## 自ら考え行動する技術者の育成

問題発見から解決にいたる過程・方法をチームで実践しながら学習する『プロジェクトデザイン教育』が、学びの大きな特徴。ユーザーがどんなものを必要としているのか、問題を発見し、知識やアイデアを組み合わせて解決策を創出し、具体化して実験・検証・評価を行っていきます。このほか、2011年には日本の大学として初めて、質の高い教育をめざす世界の工学教育の基準である「CDIO イニシアチブ」に加盟。また教育業界のみならず日本国内における「SDGs」の取り組みを牽引する存在として活躍するなど、世界を見据えた教育と研究の展開を進めています。

## KIT オナースプログラム

2010年度からスタートした「KIT オナースプログラム」では、「学科プロジェクト」「夢考房プロジェクト」を中心として、約100の正課外プロジェクトを展開。学科ごとに区分された「学科プロジェクト」では、医工連携やロボットエンジニアの育成、地域創成・活性化、グローバル人材としての能力向上など、幅広い分野のプロジェクトが学生主体で実施されています。一方「夢考房プロジェクト」では、学部学科の垣根を超えて自由にものづくりが楽しめる施設「夢考房」をフィールドとして、ソーラーカーや人力飛行機、ロボットやソフトウェア、建築分野や義手など多彩なものづくりが行われています。これらのオナースプログラムは特別奨学生(スカラシップフェロー、スカラシップメンバー)だけでなく、一般の学生にも開放されているのも特徴で、学生が興味や関心に合わせた学びと出会えるよう、学際的にバラエティ豊かな取り組みが展開されています。

## お問い合わせ先

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1

入試センター

TEL：076-248-0365

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/>



# 駒澤大学

KOMAZAWA UNIVERSITY



## 学部学科

仏教学部：禅学科/仏教学科 文学部：国文学科/英米文学科/地理学科（地域文化研究専攻・地域環境研究専攻）/歴史学科（日本史専攻・外国史専攻・考古学専攻）/社会学科（社会学専攻・社会福祉学専攻）/心理学科 経済学部：経済学科/商学科/現代応用経済学科 法学部：法律学科（フレックスA・フレックスB）/政治学科 経営学部：経営学科/市場戦略学科 医療健康科学部：診療放射線技術科学科 グローバル・メディア・スタディーズ学部：グローバル・メディア学科

## 全学生が同じキャンパスで学ぶ、知的刺激に満ちた総合大学

渋谷駅から、電車で7分。閑静な住宅街が広がる世田谷の一角に、全7学部17学科、大学院を合わせて約15,000人が学ぶキャンパスがあります。開校は、約130年前の1882年。前身である「学林」から数えれば、420年以上に及ぶ歴史と伝統があります。

全学部・学科がひとつのキャンパスにある駒澤大学では、学部の垣根を超えた交流と教育システムを展開。初年次教育に実用英語教育、キャリア教育、ICT教育、日本語リテラシー教育といった5つの教育を柱とした「駒澤大学育成基礎プログラム」では、豊かな教養と駒澤大学のアイデンティティを携えて社会に羽ばたいていける「駒澤人」を育成しています。

また、2018年4月には、9階建ての高層棟と4階の低層棟からなる開校130周年記念棟「種月館」の運用を開始しました。これにより、ICT教育に適した最先端のPC教室や、アクティブラーニング推進に向けたグループ学習室、1000席以上の学生食堂、コンビニ、ラウンジ・テラスなどが整備され、キャンパスライフがますます快適になりました。運用に際しては自然エネルギーを積極的に活用することで、災害時の防災拠点としての機能も期待されています。

禅を中心とした学部横断的な連携による新しい研究領域を開拓し、禅による学生のアイデンティティの形成や禅の教育・企業経営への応用など、禅の教えを根底に据えた研究と教育を大学のブランドとして定着させることを目指します。

お問い合わせ先  
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1  
入試センター  
TEL：03-3418-9048  
<https://www.komazawa-u.ac.jp/>



# 東京経済大学

TOKYO KEIZAI UNIVERSITY



## 学部学科

経済学部：経済学科/国際経済学科  
経営学部：経営学科/流通マーケティング学科  
コミュニケーション学部：コミュニケーション学科  
現代法学部：現代法学科  
キャリアデザインプログラム（2年次より学部所属）

## 2020年、東京経済大学は創立120周年を迎えます

東京経済大学は、2020年に創立120周年を迎えるアカデミズムがいま社会系総合大学です。建学の理念は、困難に出合っても怯まずさらに一歩前進することを意味する「進一層」で、「考え抜く実学。」をコンセプトに深い教養に裏付けられた実学教育を実践し社会で活躍できる人材の育成を行っています。

キャンパスの所在する国分寺は武蔵野の自然を色濃く残す落ち着いた環境で、全学生がこのキャンパスで4年間を過ごします。教員と学生の距離が近くゼミを中心とする少人数志向の学びを重視し、講義科目だけでは得られない知識・技能、あるいは思考力・判断力・表現力を身につけ、社会に出てから必要とされるこれらの力を育成することが可能です。

## 「安心の就職力」を支えるキャリアサポート

1年次から将来を見据えたキャリアサポートがスタートし、専門のスタッフが学生一人ひとりに寄り添い卒業まで徹底的にサポート。充実した大学生活を過ごすことのアドバイスに始まり、卒業生や企業との連携による就職までの一貫したバックアップが魅力で、正社員としての就職率は99.3%にのびります。中核を担うキャリアセンターでは年間800以上のキャリア関連行事を実施し、個別相談は年間約1万件を数えます。

東京経済大学での4年間は、考え抜き、実践し、未来を切り拓いていける自分になるための出会いと学びが待っています。

お問い合わせ先  
〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34  
入試課  
TEL：042-328-7747  
<https://www.tku.ac.jp/>



# 南山大学

NANZAN UNIVERSITY



## 学部学科

人文学部：キリスト教学科/人類文化学科/心理人間学科/日本文化学科 外国語学部：英文学科/スペイン・ラテンアメリカ学科\*/フランス学科\*/ドイツ学科\*/アジア学科\*/ 経済学部：経済学科 経営学部：経営学科 法学部：法律学科 総合政策学部：総合政策学科 理工学部：データサイエンス学科（仮称・設置構想中）/電子情報工学科（仮称・設置構想中）/機械システム工学科（仮称・設置構想中）/ソフトウェア工学科 国際教養学部：国際教養学科 \*2 専攻制

## 真の人間力・国際力を育てる語学・教養教育

南山大学は、中部地区で唯一のカトリック系総合大学として、「人間の尊厳のために」という教育モットーを掲げ、1946年に設立された前身となる南山外国語専門学校より、国際社会で活躍する人材育成を実践しています。真の人間力・国際力の育成のため、語学と教養教育に重きをおき、文系・理系を併せ持つ総合大学として、学際的な研究・教育活動を進めています。名古屋という都市にあって、緑豊かなキャンパスも魅力のひとつ。周辺は、名古屋大学をはじめ、他の大学も集まる文教地区で、学生にとって住みやすい環境です。

### ■多様な留学プログラム

各種留学制度が充実しています。留学先の取得単位を認定申請できるので、4年間での卒業も可能。学部独自の短期留学プログラムを全学部で実施しています。

### ■さまざまなメリットを持つクォーター制

1年を4回に分けて授業を行うクォーター制。海外の大学で6月からスタートするサマーコースなどの短期留学や、サービス・ラーニングなどの自主的な学修の選択肢が広がります。

### ■約60科目の「英語で」学べる授業

英語のみで授業を行う国際科目群を履修することで、高度な外国語運用能力だけでなく、異文化や社会に対する理解力と常識にとらわれない思考力をもつ国際人をめざします。

### ■日本語禁止のワールドブラザ

もっと外国語や異文化について学びたいと思っている学生をサポートする施設。日本語禁止の空間ですが心配は要りません。ワールドブラザ・アシスタントたちが優しく対応するため、楽しみながら外国語運用能力を伸ばすことができます。

お問い合わせ先  
〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町 18  
入試課  
TEL：052-832-3013  
<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>



# 武蔵大学

MUSASHI UNIVERSITY



## 学部学科

経済学部：経済学科/経営学科/金融学科  
人文学部：英語英米文化学科/ヨーロッパ文化学科  
日本・東アジア文化学科  
社会学部：社会学科/メディア社会学科

## 「ゼミの武蔵」開講するゼミは毎年400以上

開学当初から徹底した少人数教育を重視し、「ゼミ」を中心とした教育を実施。ゼミとは学生が主体となって発表・討論を繰り返しながら、少人数で学ぶ授業のこと。1年次から4年間すべての学生が履修するゼミは、毎年400以上開講され、学生は興味や関心のあるテーマを扱うゼミに所属し学びを深め、自主性や課題解決力などを身につけます。

## 各学部のグローバル教育

▶ロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラム (PDP) 経済学部の入学生のうち、数学・語学の成績などで選考した学生を対象とした国際的プログラム。武蔵大学でロンドン大学の授業を受講し、全ての試験に合格すればロンドン大学の経済経営学士号を国内で取得可能な、日本初の取り組み。▶グローバル・スタディーズコース (GSC) 人文学部生対象。高度な語学力と深い文化理解力を備えたグローバル人材を育成。どの学科の学生も所属できる「英語プログラム」のほか、多くの外国語プログラムがあり、いずれも半年または1年間の海外留学を推奨。▶グローバル・データサイエンスコース (GDS) 社会学部生対象。新時代の世界共通語である「データ」と「英語」両方のスキルを培います。1年次に集中的な英語トレーニングで語学力を磨き、高度なデータ分析法を習得。2-3年次には「GDS実践」で留学や国際ボランティアなど学外での経験を積みます。▶留学・研修制度 14カ国、合計30校と協定を結んでおり、短期・長期留学が可能。また、学生が選んだ研修先とテーマに従って調査を行う「学生海外研修」など、多彩な留学制度があります。

お問い合わせ先  
〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1  
入試課  
TEL：03-5984-3715  
[https://www.musashi.ac.jp](https://www.musashi.ac.jp/)



# 明星大学

MEISEI UNIVERSITY



## 学部学科

建築学部：建築学科 ※2020年4月開設 理工学部：総合理工学科  
人文学部：国際コミュニケーション学科／日本文化学科／人間社会学科  
／福祉実践学科 経済学部：経済学科 情報学部：情報学科 教育学部：  
教育学科 経営学部：経営学科 デザイン学部：デザイン学科 心理学  
部：心理学科

## 充実した教育環境で「自己実現を目指し 社会貢献ができる人」を育成

明星大学の母体は、1923年、体験教育の精神を掲げて創立した「明星学苑（前身：明星実務学校）」。1964年に理工学部の5学科をもって明星大学を開学。2020年4月には建築学部が新設され、9学部12学科を擁する総合大学です。

「自己実現を目指し社会貢献ができる人の育成」を教育目標に、問題意識を持ち、自らその解決に取り組むことのできる判断力と実行力を備えた人材を育成しています。

全ての学部が日野キャンパスに集約されているため、4年間すべてを同キャンパスで過ごし、学部横断型の授業も展開。開学当初より、実際の体験を通して知識や技術を身につけていく「実践躬行」の体験教育を実践してきました。

「自立と体験1」は入学後すぐに全学部・学科の学生が参加する全学共通の必修授業。少人数クラスによるグループワークを中心に、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて多様な学生と関わり、コミュニケーション力を身につけるとともに、未来に向けて各自の理想や目的を磨いていきます。

さらに、大学創立以来、教員養成に力を注いできたこともあり、小学校教員の就職者数は全国でも屈指の実績を誇ります。教職課程は2年生の時点で学校現場を通年で体験する「教育インターンシップ」をはじめとした実践的なカリキュラムが特徴で、まさに「体験教育」を体現しています。

また、キャンパスは駅直結の抜群のロケーションに加え、最先端のIT環境や実験・実習施設だけでなく、食堂や談話スペースなども充実。快適に学習や研究に専念できる環境が整っています。

## お問い合わせ先

〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

アドミッションセンター

TEL：042-591-5793

<https://www.meisei-u.ac.jp/>

